

annual report

大阪国際交流センター アニュアルレポート 2004年報



Osaka International House Foundation

はじめに



近年、情報通信技術が飛躍的な発展を続ける一方、グローバル化もますます進展し、政治、経済、文化など様々な分野において、人やモノ、資金や情報が、国や地域の枠組みを越え、一段と活発に行き交うようになってきています。こうした中、地球環境をはじめ、食糧や人口、エネルギーなど、地球的規模で取り組まなければならない問題が山積する一方、紛争やテロなどの脅威、人権侵害などの深刻な問題に直面している地域も少なくありません。

私たち人類が、このような課題を解決していくためには、国際機関や各国政府だけでなく、地域や市民レベルにおいても、交流や協力を積極的に推進し、世界の人々との相互理解や信頼を深めていくことが重要です。なかでも、国際交流について長い歴史と実績を有する大阪は、国際社会の持続的発展・繁栄に向けて、積極的な役割を果たしてまいらねばなりません。

当センターは、昭和62年の開設以来、大阪を中心に、関西一円の国際交流と市民の国際感覚を培う拠点として様々な事業を展開し、市民レベルでの相互理解の増進と友好親善の促進に努め、その一翼を担ってまいりました。昨年末のスマトラ沖大地震に際しては、被災地域からの留学生に対する緊急支援募金を呼びかけ、寄せられたご芳志を特別奨学金として支給することができました。また、本年2月には、「フェアトレード・フェスタ」をセンター初の試みとして開催しました。開発途上国の品々を適正な価格で購入することにより自立を支援する“フェアトレード”を紹介するこのイベントを通じて、多くの方に「身近にできる国際協力」を体感していただくことができました。さらに本年は、政府の呼びかけた「日韓友情年」および「日・EU市民交流年」という記念の年にあたりますので、国際交流への理解を一層深めていただけるよう、これにふさわしい事業を推進してまいります。

国や地域の枠を越えて、都市と都市、市民と市民の交流・協力が一層進展していく中において、その一翼を担う当センターの果たすべき役割は、今後ともますます重要になっていくものと存じます。そのため、当センターでは、行政や企業、NGOやNPO、教育機関などとの連携を一層強めながら、これまで以上に情報発信に努め、各種の事業を積極的に展開してまいりたいと考えております。市民の皆様をはじめ関係各位には、引き続き暖かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

このたび、平成16年度の活動状況を取りまとめました。ご高覧いただき、皆様の国際交流への理解を深めていただく一助になれば幸いです。

平成17年6月

財団法人 大阪国際交流センター
理事長 小林 庄一郎

〈セミナー事業〉

●地球市民トークプラザ



サラエボでの交流活動について語る
森田 太郎 氏



タイのHIV感染孤児の現状を語る
名取 美和 氏

〈国際協力事業〉

●ワン・ワールド・フェスティバル



国際協力に携わる102の団体が出展

●フェアトレード・フェスタ

～身近にできる国際協力～



フェアトレードの第一人者、
サフィア・ミニエー 氏の基調講演



フェアトレード製品のおしゃれな着こなし
を提案



大盛況のフェアトレード商店街

〈国際交流促進事業〉

●アジアフェス2004

○まるとアフガニスタン



バーミヤン遺跡の西方で仏教遺跡を発見、
撮影した写真家 中 敦志 氏による講演



アフガニスタンの留学生とお茶を飲みながら
意見交換



アフガニスタンの人々を撮影した写真家、内堀 たけし 氏との
フォト・ディスカッション

○モンゴル音楽祭



旧正月の踊り



古くから歌い継がれてきた伝統オペレッタ「アリゲルマー」の一場面

●第6回いんた〜ぴ〜ふるクイズラリー



チームに分かれてゲームやクイズに挑戦



●アイハウス夏祭り “The 賑”



ゆかた姿の留学生も踊りの輪に参加

●第14回大阪留学生音楽祭



フィナーレを飾る出演者200名の大合唱

●英国バーミンガム高校生訪問団の受け入れ



広島での平和学習のほか、大阪市内の施設を訪問



柔道に初挑戦

●「にっぽんー大使たちの視線2004」写真展



「美しい日本」をテーマに大使や外交官が撮影した写真74点を展示

〈外国人留学生支援事業〉

●奨学金支給制度



留学生の代表に奨学金給付決定通知書を交付

目 次

はじめに 財団法人大阪国際交流センター 理事長 小林 庄一郎

I	財団法人大阪国際交流センターの概要	●
■	設立趣意	1
■	組 織	3
■	事 務 局	4
II	平成16年度実施事業の概要	●
1	情報提供事業	7
2	セミナー事業	12
3	国際協力事業	16
4	国際交流促進事業	25
5	外国人留学生支援事業	42
6	調査・研究事業	44
7	施設管理運営事業	45
8	理事会等の開催	50
9	賛助会員制度	51
10	収支決算概要	52
III	大阪国際交流センターの施設概要	●
	大阪国際交流センターの施設概要	53
IV	資 料 編	●
○	インフォメーションセンター相談件数	69
○	インフォメーション・プラザ・オオサカ取扱件数	70
○	外国籍住民相談窓口取扱件数	71
○	外国籍住民法律相談件数	72
○	外国人のための「一日インフォメーションサービス」 相談件数	73
○	図書蔵書数	74
○	ビデオ所蔵数	75
○	アイハウス・ボランティアバンク活動実績	76
○	大阪市の国籍別外国人登録者数の推移	81
○	平成16年度大阪府内留学生数等調査	82

I

財団法人大阪国際交流センターの概要

財団法人大阪国際交流センターの概要

財団法人大阪国際交流センターは、以下の設立趣意のもとに、昭和62年2月23日、外務大臣の許可を受け大阪市が設立した公益法人です。

■財団法人大阪国際交流センター設立趣意

近年、経済、文化、学術等あらゆる分野での国際的な交流・相互依存関係が深まりつつあります。

この中で、我が国はこの数十年かつてない経済的發展を遂げ、国際社会において重要な地位を占めるに至り、「世界の中の日本」として、その果たすべき役割もますます大きなものになっています。

そして、これに呼応するように、我が国では、政府レベルの国際協力、国際交流はもとより、市民レベルでの裾野の広い交流が全国的にすすめられ、人と人との交流が着実に進展しております。

古来、大阪は内外に門戸を開き、アジアを中心とした海外の諸国との交易や文化の交流を果敢に進め、国際性豊かで活気に満ちた都市を作りあげてきた歴史があります。

また、21世紀に向けて、関西国際空港等の建設をはじめ、国際的な行事の開催など、国際的な文化都市にふさわしい都市づくりのための様々な新しい試みがなされてまいりました。

大阪市では、こうした国際化の潮流に対し、これを十分に未来のまちづくりに生かすため、市民レベルの国際交流の場、市民の国際感覚を培う場として、大阪国際交流センターを昭和62年9月にオープンいたしました。

国際的なシンポジウムに、会議に、イベントに、世界の国々から人々が集いあい、人種、民族、文化、言語、習俗等あらゆる壁をこえた対話を通じて、相互理解が生まれ、新しい文化が芽生えるという地球時代にふさわしい「ドラマ」が展開される場として大いに期待されるところであります。

財団法人大阪国際交流センターは、大阪を中心とした関西一円において、歴史、文化、その他の地域的特性をいかした国際交流活動を推進することにより、市民レベルの相互理解の増進と友好親善の促進を図るとともに、都市と都市、市民と市民との連携を深め、もって我が国の国際化に寄与せんとするものであります。

所在地	〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 8 - 2 - 6
設立年月日	昭和62年 2 月23日
開館年月日	昭和62年 9 月21日
基本財産	2 億円（大阪市からの出捐）
所管官庁	外務省
許認可	昭和62年 2 月23日 財団法人大阪国際交流センター設立許可（外務省） 平成 2 年 1 月23日 大阪市における地域国際化協会として認定（自治大臣） 平成 5 年 4 月28日 「特定公益増進法人」の認定を受ける（外務大臣） 平成 7 年 4 月28日 「特定公益増進法人」の認定更新を受ける（外務大臣） 平成 9 年 5 月 9 日 「特定公益増進法人」の認定更新を受ける（外務大臣） 平成11年10月13日 「特定公益増進法人」の認定更新を受ける（外務大臣） 平成13年10月10日 「特定公益増進法人」の認定更新を受ける（外務大臣） 平成15年12月10日 「特定公益増進法人」の認定更新を受ける（外務大臣）

■ 組 織

名誉顧問・顧問

(平成17年6月現在)

役職名	氏名	職業等
名誉顧問	大島 靖	財団法人大阪国際交流センター 前会長
名誉顧問	關 淳一	大阪市長
顧問	秋山 喜久	社団法人関西経済連合会 会長
顧問	梅 棹 忠 夫	国立民族学博物館 顧問
顧問	小倉 和 夫	独立行政法人国際交流基金 理事長
顧問	熊谷 信 昭	財団法人大阪21世紀協会 会長
顧問	高垣 佑	財団法人国際文化会館 理事長
顧問	田波 耕 治	国際協力銀行 副総裁
顧問	野村 明 雄	大阪商工会議所 会頭
顧問	畠 中 篤	独立行政法人国際協力機構 副理事長
顧問	ニール・フック	関西領事団 団長
顧問	松下 正 幸	社団法人関西経済同友会 代表幹事

12名

五十音順、敬称略

役 員

(平成17年6月現在)

役職名	氏名		職業等
会 長	佐々木 伸	(常 勤)	財団法人大阪国際交流センター
理 事 長	小林 庄一郎	(非常勤)	関西電力株式会社 顧問
理 事	井 植 敏	(非常勤)	大阪商工会議所 副会頭
理 事	小笠原 日出男	(非常勤)	財団法人UFJ国際財団 理事長
理 事	岡 橋 輝 和	(非常勤)	三井物産株式会社関西支社 副支社長
理 事	金 兎 曉 嗣	(非常勤)	大阪市立大学 学長
理 事	是 永 駿	(非常勤)	国立大学法人大阪外国語大学 学長
理 事	土 崎 敏 夫	(非常勤)	大阪市助役
理 事	西 村 貞 一	(非常勤)	大阪日米協会 会長
理 事	藤 本 明 夫	(非常勤)	財団法人大阪観光コンベンション協会 副会長
理 事	宮 原 秀 夫	(非常勤)	国立大学法人大阪大学 総長
理 事	山 口 昌 紀	(非常勤)	近畿日本鉄道株式会社 代表取締役社長
理 事	湯 浅 叡 子	(非常勤)	財団法人千里文化財団 専務理事
常務理事	中 川 喜 彦	(常 勤)	財団法人大阪国際交流センター

監 事	國 分 紀 一	(非常勤)	公認会計士
監 事	堤 一 郎	(非常勤)	株式会社りそな銀行 大阪公務部長

16名

五十音順、敬称略

評議員

(平成17年6月現在)

氏名	職業等
明野欣市	財団法人関西情報・産業活性化センター 特別調査役
伊木稔	財団法人サントリー文化財団 専務理事
尾嶋静江	大阪市地域女性団体協議会 会長
唐澤清司	独立行政法人日本学生支援機構大阪日本語教育センター 副センター長
川路賢一郎	独立行政法人国際協力機構大阪国際センター 所長
河野勝次	大阪市青年団体協議会 会長
葛本恵英	大阪市経済局長
小松範行	社団法人大阪青年会議所 理事長
田辺輝行	国際協力銀行 NGO・地方自治体連携担当特命審議役
鳥井道夫	財団法人大阪ユース・ホステル協会 会長
永田祥子	大阪市教育長
錦織一郎	財団法人大阪YMCA 総主事
廣田崇夫	独立行政法人国際交流基金京都支部 支部長
榊居伸子	財団法人大阪YWCA 理事長
宮戸直輝	財団法人大同生命国際文化基金 理事長
森下曉	大阪市市長室長
森田衛	独立行政法人日本万国博覧会記念機構 理事長
吉田定治	大阪市地域振興会 会長
米田伸次	特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会 副理事長

19名

五十音順、敬称略

企画委員

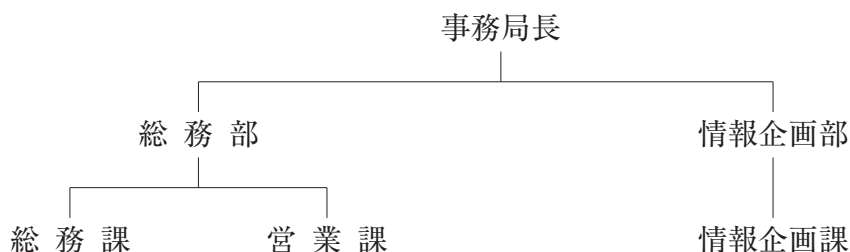
(平成17年6月現在)

氏名	職業等
石毛直道	国立民族学博物館 名誉教授
井上義國	財団法人太平洋人材交流センター 会長
井村正明	関西電力株式会社 支配人秘書室秘書役
柴田俊治	朝日放送株式会社 代表取締役会長
鈴木ひろ子	財団法人千里文化財団 次長
もず唱平	作詞家
由井俊二郎	社団法人電子情報技術産業協会関西支部 事務局長
由里正雄	元サントリーホール 総支配人

8名

五十音順、敬称略

■事務局



(平成17年4月1日改正)

平成16年度事業報告

大阪国際交流センターでは、市民の国際理解を深め、国際協力・国際交流の一層の促進を図るとともに、留学生をはじめ在住外国人が快適に生活できるよう各種事業を積極的に展開してきた。

平成16年度においては、国際協力活動を身近に理解・実践できる場として「フェアトレード・フェスタ」を開催した。

1 情報提供事業

内外の国際交流関連の各種情報の収集・提供および相談業務を行うとともに、インターネット人口の急増に対応したホームページの充実、国際交流機関・団体とのネットワークの推進を図った。

2 セミナー事業

市民の国際交流に対する意識の醸成と国際理解を深めるため、各種セミナー、シンポジウム、講演会等を開催した。

3 国際協力事業

国際協力に対する市民の意識啓発を図るため、NGO・NPOと連携し、「ワン・ワールド・フェスティバル」や「フェアトレード・フェスタ～身近にできる国際協力～」を実施したほか、研修事業として開発途上地域からの技術研修員を受け入れ、長期研修を行った。

4 国際交流促進事業

アジアに重点を置き、人・技術の交流、外国文化の紹介や留学生との交流事業など、幅広い交流事業を実施し、国際交流への市民参加の機会を提供するとともに、国際交流の担い手となる市民ボランティアの育成に努めた。

5 外国人留学生支援事業

私費外国人留学生に対する奨学金の支給、宿舎提供、国民健康保険加入促進のための保険料の一部助成、相談等の事業を行ったほか、「留学生支援市民募金」による生活資金貸付など、大阪においてより快適な留学生活が送れるよう条件整備に努めた。

6 調査・研究事業

持続可能な市民レベルでの国際協力のあり方について検討したほか、アジア・太平洋地域と大阪・関西地域との交流・協力のあり方や、留学生支援のあり方について引き続き研究を行った。

7 施設管理運営事業

大ホール等の施設を広く国際交流活動の実践の場として提供するとともに、施設の整備・充実に努めた。

8 理事会等の開催

理事会、評議員会を開催し、平成15年度事業報告および決算、ならびに平成17年度事業計画および収支予算等の承認を得た。

また、企画委員会において、今後の国際交流事業について審議した。

III

事業の概要

平成16年度実施事業

1 情報提供事業

(1) インフォメーションセンターの運営

内外の国際交流に関する資料・情報の充実を図り、市民の国際交流活動等に必要な情報の提供に努めた。

① インフォメーションカウンター

市民および外国人に対して生活・観光・留学等の情報提供を行うとともに、国際協力・国際交流・留学情報等の最新情報が提供できるよう資料等の収集を行った。

開設時間：午前9時～午後9時

《各種情報の提供》

○海外留学情報コーナー

アメリカをはじめ、イギリス、その他の国の大学等の留学案内関連図書コーナーの設置。留学相談専門機関の紹介。

○各国情報コーナー

海外情報…各国の新聞・雑誌等定期刊行物、各国政府観光局等発行資料等

国内情報…生活・観光・イベント資料等

スクラップブック…新聞・雑誌の切り抜き

その他…ビデオライブラリー、BBC・KNTVコーナー、インターネットコーナー等

○国際交流機関・団体コーナー

国内各種団体の機関誌(紙)を整備

○情報交換ボード

語学交流・文化交流等に関する個人情報の交換

② インフォメーション・プラザ・オオサカ

在住・来阪外国人に対する情報提供機能の充実を図るため、インフォメーション・プラザ・オオサカを運営し、生活に必要な情報提供を多言語で行った。

開設日・対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語(土・日・祝を含む毎日)、

タイ語(月曜日)、ポルトガル語(火曜日)、

インドネシア語(水曜日)、スペイン語(金曜日)

開設時間：午前9時～午後5時

機能内容：・生活関連の基本的な情報の提供

・専門相談機関等の紹介

③ 外国籍住民相談窓口

在住外国人を対象に、市政に関する相談窓口として各種相談を受け付けるとともに、専門相談としての法律相談を実施した。

市政相談 午前9時～午後5時30分

英語、中国語、韓国・朝鮮語（月～金曜日）、タイ語（月曜日）、ポルトガル語（火曜日）、インドネシア語（水曜日）、スペイン語（金曜日）の7言語での通訳対応

法律相談 毎月第1水曜日 午後1時～4時 大阪国際交流センター

偶数月 第3水曜日 午後5時～8時 大阪国際交流センター

奇数月 第3水曜日 午後1時～4時 大阪市役所市民相談室

英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、インドネシア語の7言語での通訳対応（祝日の場合は翌日）

④ 住まい情報センター通訳業務

住まいに関する情報機関である「住まい情報センター」への在住外国人からの問合せに対して電話を用いた3者通話（トリオフオン）による通訳業務を行った。

実施日時：住まい情報センターの開館日（火曜日、祝日の翌日を除く）の午前10時～午後5時

対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語の3言語

⑤ 子育ていろいろ相談センター通訳業務

子育ていろいろ相談センターへ、外国人から寄せられる電話及び来訪による問合せに対し、電話を用いた3者通話（トリオフオン）による通訳業務を行った。

実施日時：毎週月曜日の午前10時～午後5時

対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語の3言語

⑥ 労働・職業相談に伴う通訳業務

大阪市「しごと情報広場」で行われている来訪あるいは電話での労働・業務相談にあたって、外国籍住民からの相談に対し、電話を用いた3者通話（トリオフオン）による通訳業務を行った。

実施日時：毎週木曜日 午後1時～4時

対応言語：英語

⑦ 図書室

世界各国の歴史や文化、社会の紹介ならびに日本紹介図書等、約6,000冊を自由に閲覧することができる。

⑧ ビデオライブラリー

外国及び日本の文化・歴史・芸術紹介ならびに日本語・外国語（英語、韓国・朝鮮語、中国語等）学習教材ビデオなど、約1,300本を自由に視聴することができる。

⑨ カナダ留学フェア

カナダの学校関係者による留学説明会を開催し、関西在住の留学希望者に、より多くの情報を提供した。

日 時：平成16年10月11日(土) 午後1時～7時

会 場：大会議室「さくら」

参加校：約40校

主催：(財)大阪国際交流センター、カナダ教育連盟

(2) 国際交流機関・団体との連携

内外の国際交流機関・団体とのネットワークの強化を図った。

- 地域国際化協会連絡協議会（59団体）
各府県・指定都市設置で、総務省認定団体の連絡組織
- 近畿地域国際化協会連絡協議会（9団体）
近畿における地域国際化協会の連絡組織

(3) 情報誌・広報紙等の発行

- アイハウスニュース（主催事業等の案内および国際交流・国際協力関連情報の提供：偶数月発行）
- エンジョイ・オオサカ（在住外国人のための生活情報誌 英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語で作成 毎年発行）
- アニュアルレポート（事業報告書 毎年発行）
- インフォメーション・プラザ・ニュース（在住外国人のための情報誌 日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語で作成（第8,9,10,11号 発行）

(4) インターネット、ホームページの運営

情報化に対応して、大阪国際交流センター及びセンター事業に関する新しい情報を常に提供できるよう、ホームページの充実を図った。（<http://www.ih-osaka.or.jp/>）

また、外国人に対する情報提供を充実させるため、生活情報冊子「エンジョイ・オオサカ」を活用して「リビングインフォメーション」をインターネット上に開設し、日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語で情報提供を行った。

(5) 報道機関との連絡・調整

市政記者クラブ・関西国際広報センター等への情報提供および情報交換

(6) 施設見学者に対する説明および案内

来館者：20団体 約300名

(7) 外国人のための「一日インフォメーションサービス」

在阪外国人の生活に関する各種の問合せに対して多言語で情報の提供や相談を受けた。

開催日 平成16年7月4日(日) 午前10時～午後4時

会場 大会議室

対応内容 法律、人権、労働、職業、出入国、在留一般、進学、医療、歯科、薬剤、税金、保険年金、子育て、市政、その他生活全般

対応言語 9言語

(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、タイ語、ポルトガル語、インドネシア語、フィリピン語、ベトナム語)

参加者 23カ国 83人

主催 一日インフォメーションサービス実行委員会

(財)大阪国際交流センター、大阪法務局、大阪入国管理局、大阪労働局、大阪府、大阪府警察本部、(財)大阪府国際交流財団、大阪市、大阪弁護士会、(社)大阪府医師会、(社)大阪府歯科医師会、(社)大阪府薬剤師会、近畿税理士会、大阪府行政書士会、大阪商工会議所、(独法)日本学生支援機構大阪日本語教育センター、(特活)関西国際交流団体協議会、大阪市立子育ていろいろ相談センター

(8) インターネットを活用した国際交流情報の提供

① i-koko (アイココ)

インターネット、携帯電話インターネットを利用し、国際交流イベントなどの情報を提供するサービスを行った。

- 内 容
- ・団体登録をした情報提供者（地域国際化協会、NGO・NPO等）による国際交流イベントの告知や国際交流ボランティアの募集などの情報を掲載
 - ・i-kokoメール会員への新着情報のメーリングサービス

閲覧方法 大阪国際交流センターのホームページ (<http://www.ih-osaka.or.jp/>) からアクセス

携帯電話は <http://www.i-koko.com/i> にアクセス

② Web版情報交換ボード

インターネット上で、語学交流・文化交流など、国際交流に関する情報を個人間で交換する、情報交換ボードをボランティアの協力を得て運営した。

掲載可能言語 6言語（日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語）

掲載期間 15日間

掲載・閲覧方法 大阪国際交流センターのホームページ(<http://www.ih-osaka.or.jp/>)からアクセス

③ 多言語メールマガジン

国際交流に関するイベント情報や在住外国人のための生活情報を多言語で提供するメールマガジンを月刊で配信した。

配信言語 6言語（日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語）

配信申込方法 大阪国際交流センターのホームページ (<http://www.ih-osaka.or.jp/>)からアクセス

2 セミナー事業

① 地球市民トークプラザ

当センターがサポートする、若者を中心としたボランティアグループ「地球市民Good Idea委員会」や、シニア世代を中心とした「地球市民シニアボランティア」のメンバーが、独自の視点で企画・運営した講演会を開催した。

第1回

開催日時	平成16年12月11日(土) 午後3時～5時
会場	小ホール
講師	森田 太郎 (NGOサラエヴォ・フットボール・プロジェクト 代表)
テーマ	「サラエボ-民族共存をめざして ~ぼくがサッカーを通してできること~」
参加者数	27名
企画	地球市民Good Idea委員会

第2回

開催日時	平成17年2月12日(土) 午後1時30分～5時
会場	小ホール
講師	末富 景子 (NPO「HCCグループ」スタッフ、映画のメインテーマである詩の原案者) 加藤 圭二 (NPO「国際エンゼル協会」職員)
テーマ	「『十五才-学校Ⅳ』上映とトークの集い ~教育の原点をアジアに学ぶ~」
参加人数	111名
企画	地球市民シニアボランティア

第3回

開催日時	平成17年3月27日(日) 午後2時～4時
会場	小ホール
講師	名取 美和 (バーンロムサイ (タイのHIV感染孤児施設) 代表)
テーマ	「名取 美和という生き方 ~タイのHIV感染孤児とともに~」
参加人数	81名
企画	地球市民Good Idea委員会

② アイハウス国際理解セミナー

研究機関・大学などの第一線で活躍する講師陣を招いて、国際情勢についての講演会を実施し、国際社会の動向について市民の関心を高めるとともに、異文化理解を深めた。

《講演会》

ア 中東・イスラーム理解セミナーシリーズ in 大阪

日本における中東についての理解を促進するために行われている連続セミナーを大阪で開催した。

開催日時	平成16年9月27日(月) 午後6時～8時30分
会場	小ホール
主催	外務省、大阪府、(独法)国際交流基金、(財)大阪府国際交流財団、 (財)大阪国際交流センター
企画運営協力	(財)中東調査会
講師	サラ・ハンナシ (駐日チュニジア共和国特命全権大使)
テーマ	「日本-チュニジア政策対話・パートナーシップに向けて —地中海に面するアラブ国家と日本—」
講師	塩尻 和子 (筑波大学大学院助教授)
テーマ	「イスラームの人間観—宗教・社会・家族・女性・若者—」
参加者数	114名

イ ルード・ルベルス国連難民高等弁務官講演会

世界の難民問題の現状について理解を深めるための講演会を開催した。

開催日時	平成16年9月9日(木) 午後5時～6時
会場	小ホール
講師	ルード・ルベルス (国連難民高等弁務官・オランダ前首相)
テーマ	「世界の難民状況—私たちに何ができるのか」
参加者数	110名

③ 国際協力ひろば

国際社会における様々な問題への市民の関心を高め、国レベルからNGOまで多種多様な国際協力への理解を深めてもらい、国際理解と国際協力の促進を図るため国際協力について考えるシンポジウムを開催した。

第1回 「高校生は考える」

開催日時	平成16年7月23日(金) 午後1時30分～4時30分
会場	JICA大阪 ((独法)国際協力機構 大阪国際センター)
参加者数	68名 うち高校生48名 (15校)
主催	読売新聞大阪本社、読売テレビ、(独法)国際協力機構大阪国際センター、 国際協力銀行大阪支店、(財)大阪府国際交流財団、(財)大阪国際交流センター、 (財)国際ボランティア貯金普及協会

後援 (特活)関西NGO協議会、(特活)関西国際交流団体協議会、
近畿地区高等学校国際教育研究協議会

協力 大阪府高等学校国際教育研究会

内容 ネパールを訪れて現地の人々と交流し、地域のNGO活動から学ぶことによ
って作られた報告集「スタディツアーから開発教育教材へ—ネパールを歩
いて・見て・考えた日本の社会—」((特活)アジアボランティアセンター／開
発教育研究会)を題材に「開発」とはなにかを考えるワークショップを開催
した。

ファシリテーター 西上 壽一 (関西セミナーハウス・開発教育研究会)
佐藤 友紀 (帝塚山学院大学国際理解研究所特別研究員)

第2回 阪神・淡路大震災10周年記念事業／国際協力ひろば特別シンポジウム
「神戸から世界へ」

開催日時 平成17年1月16日(日) 午後1時30分～4時

会場 神戸文化ホール 中ホール

参加者数 800名

主催 (財)兵庫県国際交流協会、(財)神戸国際協力交流センター、
(独法)国際協力機構大阪国際センター、国際協力銀行大阪支店、
(財)大阪府国際交流財団、(財)大阪国際交流センター、
(財)国際ボランティア貯金普及協会、読売新聞大阪本社、読売テレビ

後援 兵庫県、神戸市、(特活)関西NGO協議会、(特活)関西国際交流団体協議会

内容

<第1部>基調講演

講師 杉 良太郎 (歌手、俳優)

<第2部>パネル討論

コーディネーター

藤井 康博 (読売新聞大阪本社編集局次長)

パネリスト

渥美 公秀 (大阪大学大学院人間科学研究科助教授)

鵜飼 卓 (兵庫県立西宮病院名誉院長、兵庫災害医療センター顧問)

村井 雅清 (被災NGO協働センター代表、CODE海外災害援助市民センター理事)

柳瀬 啓子 (生活協同組合コープこうべ理事)

第3回 緒方 貞子特別講演 (※中止)

日時 平成17年2月6日(日) 午後1時30分～3時

会 場 大ホール

主 催 読売新聞大阪本社、読売テレビ、(独法)国際協力機構大阪国際センター、
国際協力銀行大阪支店、(財)大阪府国際交流財団、(財)大阪国際交流センター、
(財)国際ボランティア貯金普及協会、ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会

テ ー マ 「世界の中の日本」

講 師 緒方 貞子 (独立行政法人国際協力機構(JICA)理事長、元国連難民高等弁務官)

聞き手 老川 祥一 (関西プレスクラブ理事長、読売新聞大阪本社副社長)

3 国際協力事業

(1) 国際協力の理解促進事業

① 国際理解教育教材の貸出・販売

開発教育・国際理解教育に関する教材が不足していることから制作した以下の教材を、学校教育や社会教育関係者を中心に無料で貸出を行った。

《教材一覧》

VHS「開発教育実践のヒント 世界をもっと知るために」(平成4年9月)

VHS「ベトナム メコン川のほとりで

タンビン村のお母さん 女性の役割」(平成7年3月)

VHS「ベトナム メコン川のほとりで ひとつの庭 タンビン村」(平成7年3月)

CD-ROM「熱帯雨林って何だろう? ～インドネシア～」(平成9年10月)

② ワン・ワールド・フェスティバル

これまでの日本の国際協力活動を振り返り、これからの国際協力に求められるNGOや政府機関、国際機関、国連機関、地方自治体、教育機関、企業等の連携など、今後の国際協力のあり方を模索するとともに、市民参加を促進するための意識啓発を行うなど、大阪を中心とした関西一円で国際協力に携わっている団体が協力して、世界の人々と共に生きるために一人ひとりができることを考えようとするイベントを開催した。

開催日時 平成17年2月5日(土) 午前10時～午後5時

6日(日) 午前10時～午後4時

会場 大阪国際交流センター 全館

テーマ 「21世紀、共に生きる世界をつくるために私たちができること」

主催 ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会 (18団体)

[構成団体]

(社)アジア協会アジア友の会、(特活)アジアボランティアセンター、
(社)アムネスティ・インターナショナル日本関西連絡会、
(財)オイスカ関西総支部、大阪ガス(株)、(財)大阪国際交流センター、
(財)大阪府国際交流財団、(財)大阪YMCA、関西電力(株)、近畿労働金庫、
国際協力銀行、(独法)国際協力機構大阪国際センター、
国際文化交流協会、帝塚山学院大学国際理解研究所、
日本国際飢餓対策機構、(財)PHD協会、松下電器産業(株)、
レディスソサエティ

後援 総務省、文部科学省、経済産業省、環境省、日本郵政公社近畿支社、
近畿経済産業局、大阪府、大阪市、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、
(財)自治体国際化協会、(社)関西経済連合会、大阪商工会議所、

(社)関西経済同友会、連合大阪、(財)大学コンソーシアム京都
 協力 外務省
 助成 (独法)国際交流基金
 協賛 大阪ガス(株)、大阪府JICA帰国専門家連絡会、大阪府生活協同組合連合会、
 (社)大阪労働者福祉協議会、(財)海外技術者研修協会関西研修センター、
 関西電力(株)、近畿労働金庫、(財)国際協力推進協会、(財)国際湖沼環境委員会、
 国連環境計画／国際環境技術センター、三洋電機(株)、住友生命保険(相)、
 全労済近畿大阪府本部、(財)大同生命国際文化基金、
 (財)大遊協国際交流・援助・研究協会、(財)地球環境センター、
 西日本旅客鉄道(株)、(財)日本国際協力システム、(財)日本国際協力センター、
 松下電器産業(株)

事務局 (特活)関西国際交流団体協議会

参加者数 約13,000名

内 容

《活動紹介展》

・NGO、ODA実施機関・政府機関、国連機関、企業、高等教育機関102団体

《国際協力ひろばシンポジウム》 (※中止) [再掲]

6日(日) 午後1時30分～3時

テーマ：「世界の中の日本」

講師：緒方 貞子

(独立行政法人国際協力機構(JICA)理事長、元国連難民高等弁務官)

聞き手：老川 祥一(関西プレスクラブ理事長、読売新聞大阪本社副社長)

《ODAタウンミーティング》

5日(土) 午後2時～4時

テーマ：「ODAに関する市民対話」

～日本の国際協力50年－戦略としてODAなど～

共 催：外務省

《パネルディスカッション》

5日(土) 正午～午後2時

テーマ：「国際協力の現場から～海外の現場からの報告」

6日(日) 午前11時～午後1時

テーマ：「東アジアの共生と平和に向けてⅡ」

《トーク》

5日(土)、6日(日) 午前10時～午後2時

テーマ：「外国のことを知りたい ～研修員・留学生から聞く～」

5日(土) 正午～午後2時 「教育放談会」

6日(日) 午前11時～午後1時

テーマ：「素敵な海外ワークキャンプ～企業・労組とNGOのコラボレーション」

《ワークショップ》

5日(土) 午前11時～午後3時

テーマ：「開発・環境・人権を考える

—持続可能な開発のための10年(ESD)ってなに—」

6日(日) 午前10時～正午 テーマ：「開発教育実践事例紹介」

午前10時～正午 テーマ：「在日コリアンが考える共生社会」

正午～午後3時 テーマ：「国際理解教育・教育現場の実践から」

5日(土)、6日(日) 出展団体によるワークショップ

《交流パーティー》

5日(土) 午後5時～6時30分

《体験プログラム等》

5日(土)・6日(日)

- NGO相談員による情報&相談コーナー
- 環境体験プログラム
- 「外国からのお土産市」と「洋書交換」コーナー
- 国際理解体験
 - 「世界の民族衣装着付け体験」「辞書をつくろう!」「アジアの遊び」
 - 「世界のコイン大作戦」など
- アジアのお茶&日本の茶道体験
- 民族音楽と舞踊のステージ
- 民族料理模擬店(ごみ減量のため「ディッシュ・リユース・システム」を採用)

《特設展示》

スマトラ沖大地震・津波被害支援活動のパネル展示

③ フェアトレード・フェスタ ～身近にできる国際協力～

開発途上国の生産者が伝統技術などを用いて生産した物品を消費者が購入することによって開発途上国の人々の自立を支援しようという“フェアトレード”について、市民がその趣旨の理解を深め、商品に実際に触れることにより国際協力を身近に体験するとともに、多分野にわたるフェアトレード関係者が、フェアトレードを取り巻く現状や今後の展開について意見交換する場をNGO・NPOなどと連携し、提供した。

開催日時 平成17年3月19日(土)、20日(日)

会場 小ホール、大会議室、中会議室、会議室、アトリウム

主 催 (財)大阪国際交流センター

「フェアトレード—身近にできる国際協力—」 出展委員会

参加者数 1,600名

内 容

[基調講演]

日 時 3月19日(土) 午前10時30分～11時30分

場 所 小ホール

講 師 サフィア・ミニー

(フェアトレードカンパニー(株)代表/グローバル・ヴィレッジ代表)

テ ー マ 「フェアトレードと私 ～PEOPLE TREEの歩み～」

参加者数 200名

日 時 3月20日(日) 午前10時30分～12時

場 所 小ホール

講 師 片岡 勝 (市民バンク代表、第3世界ショップ代表)

テ ー マ 「都市と田舎の元気フェアトレード」

参加者数 110名

[パネルディスカッション]

日 時 3月19日(土) 午後1時30分～3時30分

場 所 中会議室「銀杏」

テ ー マ 「フェアトレードってなあに？ 何ができる？」

コーディネーター 岩崎 裕保 (帝塚山学院大学文学部 教授)

パネリスト サフィア・ミニー

(フェアトレードカンパニー(株)代表/グローバル・ヴィレッジ代表)

篠 健司 (パタゴニア日本支社)

もず 唱平 (作詞家、一商店街一国運動 コーディネーター)

森本 喜久男 (クメール伝統織物研究所所長)

参加者数 150名

[分科会]

<分科会1>

日 時 3月19日(土) 午後4時～5時30分

場 所 中会議室「銀杏」

テ ー マ ショップオーナー・生産者が語る「フェアトレード」

コーディネーター 原 いね子 (INE～あいね～フェアトレード&エコロジー)
 パネリスト サフィア・ミニ
 (フェアトレードカンパニー(株)代表/グローバル・ヴィレッジ代表)
 スワガタ・ゴシュ (サシャ・ハンディクラフツ) (インド・生産者団体)
 胤森 なお子
 (フェアトレードカンパニー(株)/グローバル・ヴィレッジ 広報ディレクター)

参加者数 120名

<分科会 2 >

日 時 3月20日(日) 午後1時30分～3時
 場 所 中会議室「銀杏」
 テーマ 「街角のコーヒーストーリー
 ～バナナとコーヒーから見えてくる新しい世界」

コーディネーター 小吹 岳志 (フェアトレードショップ・サマサマ 事務局長)
 パネリスト 土居 年樹 (天神橋筋3丁目商店街振興組合 理事長)
 前島 宗甫 (日本ネグロス・キャンペーン委員会共同代表、関西学院大学 教授)
 吉岡 淳 (カフェ スロー 代表)

参加者数 130名

<分科会 3 >

日 時 3月20日(日) 午後3時30分～5時
 場 所 会議室C・D
 テーマ 「地域の文化を紡ぐ・さまざまな担い手 (伝統染織・手仕事)」

コーディネーター 長谷川 悟郎
 (京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科、
 平成14年度大阪アジアスカラシップスカラ)

パネリスト インディア・レガスピ
 (Heritage Arts & Crafts主宰、ピーニャ製造販売業者組合(フィリピ))
 チャンタソン・インタヴォン
 (ホアイホン職業訓練センター代表、NPO法人ラオスのこども共同代表)
 森本 喜久男 (クメール伝統織物研究所 所長)

参加者数 100名

<分科会 4 >

日 時 3月20日(日) 午後1時30分～4時30分

場 所 会議室A・B
テ ー マ 「フェアトレードをひも解く」
内 容 教員を対象にした「フェアトレード」に関するワークショップ
コーディネーター 岩崎 裕保（帝塚山学院大学 文学部 教授）
ファシリテーター 佐藤 友紀（(特活)開発教育協会大阪事務所）
小吹 岳志（フェアトレードショップ・サマサマ 事務局長）
参加者数 20名

[ファッションショー]

「フェアトレードファッションショー」

日 時 3月19日(土) 午前11時30分～12時
場 所 アトリウム
内 容 2005年春・夏新作フェアトレード商品によるファッションショーと展
示即売会
観 客 数 150名

[フェアトレード物品の展示・販売]

「フェアトレード商店街」

日 時 3月19日(土)・20日(日) 午前10時～午後5時30分
場 所 大会議室「さくら」
内 容 フェアトレードショップ、フェアトレード物品取り扱いNGO・NPO
21団体（23店）による展示・販売

[カフェ・コーナー]

「フェアトレード・カフェ」

日 時 3月19日(土)・20日(日) 午前10時～午後5時30分
場 所 アトリウム
内 容 フェアトレードのコーヒー・紅茶・菓子

[関連イベント]

「輸入手続き入門セミナー」

日 時 3月19日(土) 午後6時～8時
3月20日(日) 午後5時30分～7時30分
場 所 小ホール
講 師 河村 一雄（(財)大阪国際経済振興センター
IBPC大阪ネットワークセンター アドバイザー）

テーマ 「儲かる輸入ビジネスのやり方 ～フェアトレード実現のために～」

19日 (A) フェアトレードと小口輸入

(B) 儲かる商品／国内外の取引先の見つけ方

20日 (C) 実務—発注から代金回収まで

(D) 損をしないためのトラブル回避策

(E) 日本市場の変化に注意

(F) 感動した輸入ビジネス 2 例

参加者数 19日 100名 20日 90名

(2) 研修事業

① JICA長期集団研修員の受け入れ

国際協力機構（JICA）が実施する開発途上地域からの長期技術研修員を対象とした研修を受託し、実施した。

ア 都市上水道維持管理Ⅱコース

研修期間 平成16年 6月14日(月)～8月6日(金)

研修内容 上水道施設整備ならびに維持管理手法、上水処理技術に関する講義など

研修員 7名

参加国 中国、コートジボワール、コンゴ民主共和国、エジプト、ナイジェリア、シリア、東ティモール

イ 都市緑化行政Ⅱコース

研修期間 平成16年 8月30日(月)～11月2日(火)

研修内容 都市緑化、緑の保全、都市公園、自然公園、レクリエーションに関する講義など

研修員 7名

参加国 アルゼンチン、バングラディッシュ、中国、マレーシア、パプアニューギニア、フィリピン、タイ

ウ 生鮮食料品流通（青果物）コース

研修期間 平成16年 9月6日(月)～10月26日(火)

研修内容 卸売市場を中心とした生鮮食料品の流通組織に関する講義

研修員 7名

参加国 チリ、コスタリカ、エクアドル、ケニア、ソロモン諸島、タイ、ベトナム

② 上海市人材育成研修員の受け入れ

(財)海外技術者研修協会（AOTS）において、大阪市が実施する上海市の中堅幹部を対象とした「中国国際経営管理研修（CHIM）コース」を受託した。

研修期間	平成16年11月16日(火)～12月1日(水)
研修内容	合理的企業経営・工場経営に必要な近代的経営管理の概念および各種管理技法に関する講義および日本企業の経営活動事例見学
研修員	21名

(3) スマトラ沖地震被災者支援

① スマトラ沖地震被災外国人留学生支援のための募金及びスマトラ沖大地震被災外国人留学生特別奨学金支給

募金期間	平成16年12月29日～2月28日
募金方法	募金箱、募金口座
募金総額	272,390円
支給資格	大阪市内の大学、短期大学、専門学校等に地震発生時在籍する被災地出身の外国人留学生（出入国管理及び難民認定法に規定する在留資格が「留学」である者）で、スマトラ地震により実家や家族が大きな被害を蒙り、留学の継続に支障が生じている者
申請期間	平成17年1月24日～2月28日
申請方法	在籍する大学等を通じて申請
支給日	平成17年3月8日
支給額	各137,000円
支給対象者	大阪日本語教育センター 学生（スリランカ・マータラ出身） 大阪市立大学 学生（インドネシア・バンダアチェ出身）

② スマトラ沖大地震被災地支援活動を実施するNGOに対する助成

大阪市内に活動拠点を置き国際協力を行っているNGOで被災地での支援活動を展開しているNGO団体に対し、大阪市国際交流促進事業助成制度により助成を行った。

助成団体	(社)アジア協会アジア友の会、(特活)アジアボランティアセンター
助成額	各25万円
財源	大阪市清掃事業協同組合からの寄付金等を充当

③ スマトラ沖大地震・津波被害支援活動のパネル展示

スマトラ沖大地震・津波被害支援活動被災地での支援活動を伝えるパネル展示を(特活)関西国際交流団体協議会と協力し、実施した。

テ ー マ	“TSUNAMI”を“TSUNAGARI”へ
内 容	<ul style="list-style-type: none">• 支援に取り組む団体の活動地域• 支援に取り組む団体リスト（NGO／NPO、政府機関、国際機関、企業、高等教育機関）• 写真（大阪市消防局、JICA、CODE第一次現地調査団）
掲示期間	平成17年2月5日（ワン・ワールド・フェスティバル開催時）～4月28日（木）

4 国際交流促進事業

(1) アジアとの交流事業

① 大阪・アジアスカラシップ制度

21世紀の日本とアジアとの交流の架け橋となる有為な人材を育成するため、日本とアジアの国際交流・国際協力やアジア研究を志す35歳未満の若者に奨学金を支給した。

助成内容 1名あたり、旅費滞在費・研修・研究費等について160万円を限度として助成する。

派遣期間は12か月以内

出発期間は平成16年10月1日～平成17年3月31日

募集期間 平成16年4月12日(月)～平成16年6月5日(土)

書類選考 平成16年7月11日(日) 午後2時～4時

面接選考 平成16年7月24日(土) 午前10時～午後2時

派遣者

○内田 麻衣子

派遣先：東ティモール・デイリ 国連開発計画

テーマ：「開発援助事業に対するモニタリングと事業評価、東ティモールを例に」

○小堀 和彦

派遣先：台湾・台南 成功大学大学院

テーマ：「国際会計基準導入による台湾経済への影響について」

○平林 いづみ

派遣先：ラオス・シェンクアン県及びビエンチャン特別市 シェンクアン県観光案内所

テーマ：「観光地に生きる人々―ラオスシェンクアン県の観光開発と住民の意識―」

② 大阪フェロースhip（特別研究奨学金）制度

人材育成を中心とした国際協力の推進とともに、大阪の科学・技術・産業の推奨を図るため、アジアをはじめとする世界の若手研究者等を大阪市関係の研究機関に受け入れ、共同研究等の活動を助成した。

受入期間 平成16年4月1日(木)～平成17年3月31日(木)

受入者 魏 樹梅 (ウェイ シュメイ)

研究テーマ 「細胞内小胞輸送および分泌における低分子量G蛋白質ARL7の機能解析」

受入機関 (財)大阪バイオサイエンス研究所

③ 21世紀ジャーナリストフォーラム2004

アジア・太平洋地域をはじめとする世界のジャーナリストの相互交流と関西の国際的な情報発信機能の強化をめざしてフォーラムを開催した。

開催日時 平成16年10月15日(金) 午後1時30分～7時

会 場 大会議室「さくら」

参加者数 140名

言 語 日本語、韓国語(同時通訳)

主 催 (財)大阪国際交流センター、関西プレスクラブ、関西国際広報センター

後 援 外務省、大阪府、大阪市、関西広域連携協議会

内 容

フォーラム 午後1時30分～5時30分

〈テーマ〉 「関西変革の視点を探る－大交流時代を迎えた東アジアの都市戦略」
 関西がアジア諸都市とどのように交流を強化し、共生していくべきか、
 中国・韓国の主要都市の現状や動向を紹介しつつ、多角的な議論を通じて
 関西の変革に向けての課題と展望を探る。

〈基調講演〉山下 和彦(株)大阪国際会議場代表取締役社長)

〈パネルディスカッション〉

〈コーディネーター〉

道浦 俊彦(読売テレビ放送編成局アナウンス部部長補佐)

〈パネリスト〉

尹 玄柱(韓国 釜山日報社国際部長)

孔 怡(中国 テレビ・ラジオパーソナリティ)

石森 秀三(国立民族学博物館文化資源研究センター長・教授)

千野 境子(産経新聞大阪本社大阪特派員兼論説委員)

レセプション 午後5時45分～7時

④ 第15回アジア国際ネットワークセミナー

大阪を中心とする民間国際交流団体や自治体の中堅スタッフを対象に、アジア各国の公的機関や地域社会において福祉向上に努力している人たちとの交流を通じて相互理解、協力、連帯の絆を深め、将来におけるネットワークづくりをめざしたセミナーを開催した。

開催期間 平成16年11月7日(日)～10日(水)

開催地 国内 大阪

基本テーマ 「アジアに理解と協力と連帯の輪を広げよう」

テ ー マ 「真のグローバル化に向けてのアジア人の役割と地球社会奉仕への参加について」－アジア的価値の探求－

参加者 20カ国・83名

〔日本（22名）、アフガニスタン（1名）、インド（7名）、インドネシア（2名）、韓国（3名）、カンボジア（3名）、シンガポール（1名）、スリランカ（3名）、タイ（7名）、中国（2名）、ネパール（4名）、パキスタン（2名）、バングラディシュ（2名）、フィリピン（15名）、ベトナム（2名）、マレーシア（2名）、ミャンマー（1名）、モンゴル（2名）、ラオス（1名）、イラン（1名）〕

主催 アジア国際ネットワークセミナー実行委員会

[構成団体]

〔(財)大阪国際交流センター、(財)大阪府国際交流財団、
(社)アジア協会アジア友の会、松下電器産業労働組合〕

後援 外務省、大阪府、大阪市

協力 堺市

内容

11月7日(日) 大阪国際交流センター

開会式 基調講演 各国プレゼンテーション

<基調講演>

講師 五月女 光弘（外務省参与・NGO大使）

テーマ 「世界を拓く日本の貢献／NGOの役割」

講師 ミナ・ラミレズ（アジア社会科学院学長）

テーマ 「精神性と人間総合開発」

11月8日(月) 臨海ホテル石津店

グループディスカッション

11月9日(火) 堺市役所、松下電器技術館、海遊館、堺能楽会館

視察 文化交流会

11月10日(水) 臨海ホテル石津店

各グループ発表 行動計画採択 大阪宣言文採択

⑤ アジアフェス2004

アジアの国々に対する理解を深め、大阪とアジア諸国との相互理解や友好親善を推進するため、舞踊・音楽公演、映画祭、写真展、講座などのプログラムを展開するもので、「まるごとアフガニスタン」、「モンゴル音楽祭」、「正倉院の響き」、「開高健記念アジア作家講演会」、「アジア漫画展」を実施した。

ア まるごとアフガニスタン

今年のアジアフェスのオープニングイベントとして、絵画、手工芸、写真の展示を

通じ、国の再生に取り組む人々の姿や、彼らの未来に対する希望や展望など、アフガニスタンの“今”を伝えた。

〔作品展〕 アフガニスタン・バーミヤン西方遺跡写真展

開催期間 平成16年9月1日(水)～7日(火)
午後1時～8時(※ただし、7日は4時まで)
場 所 ギャラリー
来場者数 381名

〔講演会〕 「シルクロードの発見～仏教は西へ～」

開催日時 平成16年9月13日(月) 午後7時～8時30分
場 所 小ホール
参加者数 68名
内 容 バーミヤン遺跡の西方で仏教遺跡を発見、撮影した写真家、中敦志氏による講演

〔作品展〕 アフガニスタン展 明日へつなぐアーティストたち

開催期間 平成16年9月8日(水)～17日(金)
午後1時～8時(※12日・17日は4時まで)
場 所 ギャラリー 中会議室「銀杏」
主 催 (財)大阪国際交流センター、(財)大阪21世紀協会
共 催 国際交流基金アジアセンター、毎日新聞大阪本社
後 援 (財)坂田記念ジャーナリズム振興財団
内 容

<絵画・工芸展示>

8日(水)～12日(日)

ストリート・ワーキング・チルドレンによる、町や自然の風景、伝統や人々の暮らしを描いた絵画や、民族衣装や木箱などの工芸品などの展示

来場者数 217名

<写真展示>

13日(月)～17日(金)

2001年から2003年まで4度にわたり取材を行った写真家 内堀たけし氏による「働く子どもたち」、「町の日常」、「学ぶ」、「戦争の爪あと」、「農村」のテーマで構成された写真展

来場者数 500名

- [セッション] 写真家 内堀たけし氏とのフォト・ディスカッション
 開催日時 平成16年9月17日(金) 午後7時～8時50分
 場 所 ギャラリー
 参加者数 10名
 大阪市立夕陽丘中学校生徒 126名(午後1時～3時開催)
 内 容 アフガニスタンの写真や資料をもとに写真家内堀たけし氏と参加者との意見交換

- [アフガンcafé]
 開催日時 平成16年9月11日(土) 午後2時～3時30分
 15日(水) 午後7時～8時30分
 場 所 ギャラリー
 参加者数 25名、20名
 内 容 アフガニスタン・カブール大学からの留学生による市民の目から見た祖国の現状や未来への展望についてのトーク

- [映画会] 『アフガン零年』上映会
 開催日時 平成16年9月16日(木) 午後7時～9時
 場 所 小ホール
 参加者数 67名
 内 容 23年に及ぶ長い戦争が続き、タリバン政権であった最後の5年間は、映画を作ることさえ禁止されていたアフガニスタンで、戦争終結後初めて作られた、アフガニスタン人によるアフガニスタンの映画。2003年カンヌ映画祭カメラドール特別賞、2004年ゴールデングローブ賞外国語映画賞受賞作品

イ モンゴル音楽祭

伝統オペレッタをはじめ、馬頭琴四重奏の演奏とホーミーの歌唱、モンゴルのポップス、民謡など、幅広いジャンルのモンゴル音楽の演奏

- 開催日時 平成16年11月1日(月) 午後7時～8時50分
 場 所 大ホール
 公演内容

① 伝統オペレッタ

昔から歌い継がれてきた名曲の旋律をコメディタッチに仕上げた、モンゴル伝統オペレッタ「アリゲルマー」の上演

② 馬頭琴・ホーミー

国立馬頭琴交響楽団のメンバーから結成されたグループ、タリーン・ドゥラールによる、馬頭琴の演奏やホーミーの歌唱

③ モンゴルポップス

モンゴルの若者に人気の女性ポップスシンガー、セルチマーによる歌唱

④ オルチンドー（民謡の長い歌の形式）

オルチンドーの母といわれた故・ノロブバンザドの後継者の歌手バットメンドゥによる舞台

主 催 (財)大阪国際交流センター、(財)大阪21世紀協会、モンゴル音楽祭実行委員会、読売新聞大阪本社

後 援 外務省、大阪市、モンゴル国教育文化科学省、在日モンゴル国大使館

助 成 (独法)国際交流基金

参加者数 751名

ウ 正倉院の響き

～日本音楽文化発見

正倉院復元楽器、雅楽・洋楽器によるレクチャー・コンサート～

主 催 (財)大阪国際交流センター、(財)大阪21世紀協会、読売新聞大阪本社

協 力 東大寺、奈良国立博物館、(独法)国際交流基金

後 援 大阪市

会 場 小ホール（第1回～第5回）、大ホール（第6回）

内 容

第1回 レクチャー・コンサート

平成16年10月10日(日) 午後6時30分～8時30分

講 師 野原 耕二（音楽プロデューサー）

テ ー マ 「プレ雅楽の音楽文化及び正倉院の響き総論」

演 奏 摩寿意 英子－正倉院復元箏篋（くご）岳人山－正倉院復元排簫（はいしょう）

参加者数 90名

第2回 レクチャー・コンサート

平成16年11月8日(月) 午後6時30分～8時30分

講 師 西山 厚（奈良国立博物館資料室長）

テ ー マ 「正倉院宝物の誘惑」～今年の正倉院展から～

演 奏 三田 浩則 - 正倉院復元方響
 参加者数 75名

第3回 レクチャー・コンサート

平成16年12月13日(月) 午後6時30分～8時30分
 講 師 森本 公誠 (華嚴宗管長東大寺別当)
 テーマ 「聖武天皇と音楽」～平成18年聖武天皇御遠忌1250年を前に～
 演 奏 西垣 林太郎 - 正倉院復元四弦琵琶「天平琵琶譜」訳譜：芝
 祐靖
 参加者数 130名

第4回 レクチャー・コンサート

平成17年1月29日(土) 午後6時30分～8時30分
 講 師 木戸 敏郎 (京都造形芸術大学教授)
 テーマ 「古代シルクロード楽器比較論 - ハープ属」
 ～復元した楽器が記憶していたこと～
 演 奏 摩寿意 英子 - 正倉院復元箏篋 (くご)、復元ケルトハープ・
 グランドハープ
 参加者数 109名

第5回 レクチャー・コンサート

平成17年2月27日(日) 午後2時～4時
 講 師 小野 功龍 (天王寺楽所雅亮会理事長)
 テーマ 「日本音楽の確立「雅楽」」
 ～大宝律令、歌舞寮(うたまいのつかさ)音楽改革～
 演 奏 天王寺楽所雅亮会 - 正倉院復元楽器 箏、瑟・雅楽楽器
 参加者数 113名

第6回 正倉院復元楽器オーケストラコンサート

平成17年3月18日(金) 午後6時30分～8時30分
 講 師 芝 祐靖 (雅楽奏者)
 テーマ 「現代を彩る天平の音世界」
 ～正倉院復元楽器オーケストラによる唐王朝の響き～
 演 奏 伶楽舎 - 唐楽アンサンブル他
 参加者数 456名

エ 「日韓友情年2005」記念事業 開高健記念アジア作家講演会（韓国）大阪講演
国際交流基金が、アジア諸国より文学関係者を日本に招聘し、日本では紹介される
機会が少ないアジアの文学を多くの人々に紹介することを目的とする「アジア作家講
演会」を共催した。

開催日時 平成17年2月20日（日） 午後3時～5時

会場 小ホール

主催 (財)大阪国際交流センター、(財)大阪21世紀協会、(独法)国際交流基金

講師 金 衍 洙（キム・ヨンス）（作家）

コーディネーター 崔 真碩（チェ・ジンソク）

（東京大学大学院 総合文化研究科 博士課程在籍）

テーマ 「心の中にある記憶の“灯り”

韓国新世代作家がつむぐ個人の歴史、そして民族の歴史」

内容 キム・ヨンス氏が最近執筆した短編作品を主な素材にして、個人の歴
史／記憶の表現に対する氏の立場やこだわりを中心に語る講演

使用言語 韓国語（日本語同時通訳あり）

参加者数 72名

オ アジア漫画展

開催期間 平成17年2月21日（月）～27日（日） 午前11時～午後6時

会場 ギャラリー

主催 (財)大阪国際交流センター、(財)大阪21世紀協会、(独法)国際交流基金

テーマ 「アジアのIT事情」

内容 アジア8カ国（中国、インド、インドネシア、日本、韓国、マレー
シア、フィリピン、タイ）で活躍中の漫画家が、IT最新事情にスポ
ットをあて風刺やユーモアを交えて描いた作品80点を展示

来場者数 298名

(2) 外国人等との交流事業

① 在住外国人ふれあい事業

ア 在住外国人ふれあいサロン

外国人を対象に、登録ボランティアの協力を得て、実生活に即した会話を中心とする
日本語指導を通じた相互理解と交流促進・情報交換の場を提供した。

開催日 毎週土曜日（午後2時～3時30分）

会場 会議室

参加者数 外国人のべ1,096名、ボランティアのべ1,268名（46回開催）

イ 第6回いんた〜び〜ふるクイズラリー

大阪在住の留学生をはじめとする外国人と日本人が一堂に集い、チームを組み、剣先広場でのゲーム競技や、中之島遊歩道・桜ノ宮公園などクイズラリーを行いながら、「ともに考え」「ともに話し合い」「ともに歩く」という共同作業を通して、言語や文化の違いを越えた親睦と相互理解を深める交流のつどいを開催した。

開催日時 平成16年10月31日(日) 午前10時～午後4時

会場 大阪・中之島公園 剣先広場

主催 いんた〜び〜ふるクイズラリー実行委員会

[構成団体]

〔大阪SGGクラブ、国際文化交流協会、(財)大阪国際交流センター、
日本国際青年クラブ関西、SACEMU、ボーイスカウト大阪第161団〕

参加費 無料

参加者数 311名 (外国人109名、日本人202名)

ボランティア 90名

ウ アイハウス夏祭り “The 賑”

在日外国人や地域の人々が気軽に日本の夏祭りの雰囲気を楽しみながら、相互に交流を深める場として、センター登録ボランティアの協力を得て開催した。

開催日 平成16年7月25日(日) 午前11時～午後4時

会場 アトリウム 他

内容 屋台をはじめとする日本の夏祭りコーナー、外国料理のコーナー、フリーマーケット、ゆかた着付けや染物などの体験コーナーなど

参加者数 約1,500名

エ 日本を楽しもう! 「おもちつき」

在住外国人に日本の四季の行事を紹介し、日本文化への理解と参加者相互の交流を図ることを目的に開催した。「お餅」をテーマにセンター登録ボランティアの協力を得て、実際にお餅つきを体験し、試食してもらった。

開催日 平成17年1月30日(日) 午前11時～午後3時

会場 ギャラリー

内容 ボランティアと参加者による「餅つき」実演、試食、日本の遊びを紹介

参加者数 約100名

② 第14回大阪留学生音楽祭

大阪で学ぶ留学生が、各国の伝統的な音楽・舞踊などを披露し、市民との交流および学

生相互のネットワークづくりを図った。

開催日時	平成16年12月12日(日)	午後2時～5時30分
会場	大ホール、大会議室	
内容	第1部	午後2時～4時30分 留学生音楽祭
	第2部	午後4時30分～5時30分 留学生交歓の集い(参加費2,000円)
参加者数	第1部	約1,000名
	第2部	約300名
主催	(財)大阪国際交流センター、(財)大阪府国際交流財団、(財)民主音楽協会	

③ 外国人生活日本語コース運営事業に対する助成

年々増加する在阪外国人が快適に安心して生活できるよう、日本語会話能力の習得と日本語の理解力を高めるため、(独法)日本学生支援機構大阪日本語教育センターに開設された生活日本語コースに対し、助成を行った。

④ 青少年海外研修 ～高校生文化交流使節～

<高校生文化交流使節2003帰国報告会>

英国グラスゴーに2003年度に高校生文化交流使節として派遣した10名の高校生が、その成果を報告した。

開催日時	平成16年5月30日(日)	午後3時～5時
内容	体験談の発表 懇親会	

⑤ 英国バーミンガム高校生訪問団の受け入れ

英国バーミンガムから高校生が来日し、ホームステイや社会見学等さまざまな機会を通じて現代の日本を知るとともに、大阪の高校生と交流し、友好を深めた。

名称	「日本体験」プログラム(英語名: JAPAN EXPERIENCE STUDY TOUR)	
実施期間	平成16年11月19日(金)～11月27日(土)	
主催	(財)大阪国際交流センター	
共催	ブリティッシュ・カウンシル東京	
資金提供	英国笹川財団(英語名: Great Britain Sasakawa Foundation)	
団の構成	スモール・ヒース高校生徒(17歳)12名と教師2名	

⑥ 大阪国際学校フード&エンターテイメント フェスティバル

平成13年9月に港区弁天に開校した大阪国際学校と連携し、地域交流事業を行った。

日時	平成16年10月23日(土)	午前11時～5時
----	----------------	----------

場 所	オーク200アトリウム（港区弁天1-2-2）
主 催	(財)大阪国際交流センター、大阪国際学校（Osaka YMCA International School）
参加者数	約4,000人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> • 大阪国際学校保護者・教員、市民による各国料理の屋台 • 大阪国際学校生徒アート作品展示 • 大阪国際学校生徒、地元高校生による吹奏楽演奏、民族音楽演奏 • フェンシングのデモンストレーション

(3) ボランティア育成事業

ボランティアバンクの運営

市民レベルの自発的な国際交流活動の活性化を図るとともに、大阪を訪れる外国人の日本理解を促進するため、ボランティアを公募し、アイハウス・ボランティアバンクを運営した。

登録者総数	737人（平成17年3月31日現在）
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> • ホームステイによる家庭への外国人の受け入れ • 国際競技大会などのレセプションやインフォメーションブースでの通訳 • インフォメーション・プラザでの通訳 • 学校等各種公共施設における通訳 • リーフレット案内文の翻訳 • 日本語指導 • 国際競技大会会場等における日本文化の紹介等の技術・技能提供 • センター主催事業での受付 • センター発行物発送業務等の日常業務協力など

(4) 国際交流促進事業助成

市民レベルでの国際交流を推進するため、民間国際交流団体等の行う国際交流事業に対し、助成を行った。

助 成 額	1事業100万円を限度とし、事業費の2分の1以内
助成件数	6件

(5) 大阪市姉妹都市交流協議会委託事業

姉妹都市間の市民レベルでの交流の輪を広げるため、当財団の姉妹都市交流事業のうち、次の事業を委託した。

- 姉妹都市交流推進業務

- ・姉妹都市に関する最新情報収集並びに提供
- ・姉妹都市紹介PR冊子等作成業務
- ・海外へのPR関連業務
- ・在住外国人との交流促進業務
- ・大阪市姉妹都市の都市間ネットワークの仕組みについての情報収集

(6) 国際交流支援事業

地域レベルの国際化を推進するため、区の国際交流事業を支援した。

東淀川区との連携事業

事業名称	世界にタッチ フォルクローレとジャズの夕べ
開催日時	平成17年3月11日(金) 午後6時30分～8時30分
会場	東淀川区民ホール
主催	東淀川区生涯学習推進会議、(財)大阪国際交流センター
内容	北陽高校ジャズバンド部 ジャズ演奏 ケルマントゥ フォルクローレ (アンデス音楽) 演奏
参加者数	333名

(7) 各国領事館、各国文化交流機関との連携事業

① 第3回 日本-EU文化交流シンポジウム

移民との共存に直面しているEU各国・地域から、作家や研究者を迎え、日本においても今後進展するであろう多文化社会について語るシンポジウムを開催し、多文化社会について理解を深めた。

開催日時	平成16年5月8日(土) 午後2時～6時
会場	小ホール
主催	日本-EU文化交流シンポジウム実行委員会

[構成団体]

大阪日仏センター＝アリアンス・フランセーズ、
関西カタルーニャセンター、大阪ドイツ文化センター、
日本・スペイン文化経済交流センターエクステンション、
(財)ベルギーフランドル交流センター、
ブリティッシュ・カウンシル大阪センター、(財)大阪国際交流センター

助成	駐日欧州委員会代表部、EU・ジャパンフェスト日本委員会
後援	(独法)国際交流基金、大阪市
参加者数	約150名

内 容

<テーマ> 「多文化の彩り—社会における多様性の魅力」

<モデレーター>

庄司 博史 (国立民族学博物館 民族社会研究部 教授)

<パネリスト>

Jamil Shakely (ジャミル・シェイクリー) (児童文学作家)

Azouz Begag (アズズ・ベガグ) (社会学者)

Zafer Senocak (ザファ・ゼノチャク) (作家)

Hanif Kureishi (ハーニフ・クレイシ) (映画監督、作家)

鄭 甲寿 (チョン・カプス) (コリアNGOセンター代表理事)

《レセプション》

開催日時 平成16年5月8日(土) 午後6時30分～8時

会 場 ベルギーフランドル交流センター

② 「にっぽん—大使たちの視線2004」写真展 (大阪展)

日本駐在の外交官たちの視線で撮られた写真を一般に広く公開することで、相互理解の一助とするとともに、在関西領事館との交流を図り、今後の事業への協力・連携を強化した。大阪では2001年から開催している。

開催日時 平成16年12月9日(木)～18日(土)

午前11時～午後6時 (最終日は午後4時まで)

会 場 ギャラリー

主 催 (財)大阪国際交流センター、「にっぽん—大使たちの視線」写真展実行委員会

後 援 日本写真協会、各国大使館、関西領事団、外務省、大阪市

特別協賛 コニカミノルタホールディングス

協 賛 横浜スーパーファクトリー、ミキモト

企画制作 G.I.P.Tokyo

テ ー マ 「ビューティフルジャパン—美しい日本

Beautiful Japan through Diplomats' Eyes」

来場者数 1,069名

展 示 数 約80点 (26ヶ国、60名 (日本外務省を含む))

<オープニングセレモニー及び交流会>

開催日時 平成16年12月8日(水) 午後5時30分～6時

対 象 者 在関西領事館総領事、名誉総領事及び関係者、国際交流団体関係者、
アイハウス会員 等

※各国領事館等文化担当者向け施設説明会を午後4時30分～6時30分に開催

③ 関西韓国文化院 開院5周年記念行事 関連事業

日韓両国間のより一層の友好親善と文化交流を図るため、関西韓国文化院に共催し、現代の韓国を代表する芸術家による音楽公演や陶芸展などの韓国文化を紹介した。

主 催 関西韓国文化院

共 催 (財)大阪国際交流センター

在日本大韓国民団大阪府地方本部 (コンサートのみ)

在日本大韓民国婦人会大阪府地方本部 (コンサートのみ)

ア 韓日サクソフォンアンサンブル・ジョイントコンサート

開催日時 平成16年4月3日(土) 午後6時30分～8時20分

会 場 大ホール

後 援 NHK大阪放送局、FM COCOLO

参加者数 約850名

出 演 金 武均・サクソフォンアンサンブル (ソウル：32名)

ミベモル・サクソフォンアンサンブル (大阪：18名)

声楽家 朴 ヨハン<バリトン>、呉 美善<ソプラノ> (ソウル)

イ 韓国現代陶芸展

開催期間 平成16年4月5日(月)～10日(土)

午前10時～午後5時 (初日のみ午後2時30分～)

会 場 ギャラリー

後 援 大阪市、大阪府

参加者数 のべ約700名

内 容 (社)韓国工芸協会・セラミックアート会員 (ソウル：60名) の作品展、現代陶磁器60点を展示

ウ 金福喜・韓国現代舞踊団公演

開催日時 平成16年4月10日(土) 午後6時30分～8時

会 場 大ホール

後 援 NHK大阪放送局、FM COCOLO、在日本大韓国民団大阪府地方本部、
在日本大韓民国婦人会大阪府地方本部

参加者数 約800名

出 演 金福喜舞踊団 (ソウル：30名)

内 容 「月とカラス」～韓国近代画家、李仲燮の生涯～と作品を舞踊で再現

④ 「アメリカンクリスマスコンサート」

関西アメリカンセンターの「一般公開プログラム」を共催し、アメリカ音楽の文化プログラムについて市民の理解を深めた。

開催日時	平成16年12月3日(金) 午後7時～8時30分
会場	小ホール
主催	関西アメリカンセンター、(財)大阪国際交流センター
参加者数	182名(うちセンター会員等41名)
内容	“American Voices”のテレサ・セイデルとジョン・ファーガソンのデュオによるクリスマスミュージックコンサート

(8) その他交流促進事業

① 『実践国際交流』、『入門国際交流』の頒布

平成4年に作成した国際交流の手引書である『入門国際交流』及び平成9年に作成した実践的な内容の『実践国際交流』について頒布を実施した。

② 「韓国中学・高校教員招へい」事業

韓国における日本理解および日韓文化交流を促進するために、同国の教員を招へいし、日本の文化と社会に対する理解を深める機会を提供した。

実施期間	平成16年9月30日(木)～10月6日(水)
場所	会議室、大阪市内の学校等
主催	(独法)国際交流基金
共催	(財)大阪国際交流センター
内容	韓国の中学・高校の社会科教員等を招へいし、日本の文化と社会に対する理解を深めてもらうもので、大阪での研修(文化事情視察、学校訪問、ホームステイ)を実施した。
招へい人数	25名

③ 阪神・淡路大震災10周年記念シンポジウム

「外国人情報提供システムの整備と共生社会の実現」

阪神・淡路大震災発生後10年を振り返り、災害時の外国人支援のあり方などに関するシンポジウムを開催し、市民とともに考える機会を提供した。

日時	平成17年1月14日(金) 午後5時30分～7時30分
場所	大阪国際交流センター 大会議室さくら
主催	関西インターメディア株式会社(FM COCOLO)
共催	(財)大阪府国際交流財団、(財)大阪国際交流センター

後 援 外務省、大阪府、大阪市、兵庫県、神戸市、(社)関西経済連合会

④ 一、一フェスタ5 ―手作りの国際交流―

大阪市が商店街の活性化と国際化を推進する「一商店街一国運動」の5周年記念事業に共催し、手作りの国際交流と商店街に関するシンポジウム、運動の実績国の物品販売・文化紹介、フェアトレード活動の紹介、スマトラ沖地震被災者支援のためのチャリティーなどを行い、身近な国際交流・国際理解の機会への参加を促した。

日 時 平成17年3月24日(木) 午後2時～6時
 会 場 大阪国際交流センター
 主 催 一、一フェスタ5実行委員会
 構成団体：大阪市商店会総連盟、大阪市商業振興企画(株)
 共 催 (財)大阪国際交流センター
 後 援 各国大使館・総領事館、大阪市、(財)大阪都市協会、(財)大阪21世紀協会、
 (財)大阪国際経済振興センター

⑤ ファシリテーターのための相互学習セミナー

参加型学習の場において、参加者一人ひとりの経験や知識、意見を引き出すことで対話を生み出し、相互の学び合いを促進する役割を担っているファシリテーターの育成を目的に、求められている技能、資質について相互に学び合う場を提供し、国際理解教育などへの取り組みがより一層図れるよう、ワークショップの実践者を対象にセミナーを行った。

主 催 (特活)開発教育協会 大阪事務所、(財)大阪国際交流センター
 場 所 大阪国際交流センター 会議室、應典院 研修室
 内 容
 第1回 平成16年10月24日(日) 午後2時～5時
 テーマ 「子どもの権利ワークショップ」
 ファシリテーター 浜田 進士(子どもの人権ファシリテーター)
 第2回 平成16年11月20日(土) 午後2時～5時
 テーマ 「戦争・平和を考えるワークショップ」
 ファシリテーター 高野 剛彦(神戸市立六甲アイランド高等学校教諭、
 神戸開発教育研究会)
 第3回 平成16年11月27日(土) 午後2時～5時
 テーマ 「社会に向き合うワークショップ」
 ファシリテーター 池住 義憲(開発教育ファシリテーター)
 第4回 平成16年12月11日(土) 午後2時～5時
 テーマ 「100人村ワークショップ体験と問題意識の整理」

第5回 平成17年1月22日(土) 午後2時～5時

テーマ 「メッセージを伝えるワークショップの組み立て」

第6回 平成17年2月19日(土) 午後2時～5時

テーマ 「全体シェアリングと評価」

※第4回～第6回のファシリテーターは、開発教育協会 大阪事務所のスタッフ
参加者数 のべ221名

5 外国人留学生支援事業

(1) 奨学金支給制度

対 象 大阪市内の大学、短大、専修学校、大阪日本語教育センターの正規課程に在籍する留学生

支 給 額 大学生・大学院生：月額 40,000円

その他：月額 20,000円

認定人員：

区 分	対象者数	前期(12か月)支給	後期(6か月)支給	合 計
大学・大学院	397	36	0	36
短 大	40	3	0	3
専 修 学 校	2,039	41	31	72
大阪日本語教育センター	102	1	25	26
計	2,578	81	56	137

(2) 宿舎提供事業

① 留学生向け賃貸住宅事業「エル・セレーノ紅梅町」

国土交通省の「特定目的借上公共賃貸住宅制度」の活用により、留学生に低廉な家賃で良質な住宅を供給し、留学生の生活の安定を支援した。

戸 数：単身用48戸、世帯用6戸

入居資格：大阪府下の大学等に在籍する私費外国人留学生

② 留学生等専用宿舎助成事業

市内にある社員寮や民間賃貸アパート等など日本人向け物件を新たに留学生・就学生専用住宅へ転用（新改築を含む）した家主等に助成し、優良な留学生等専用宿舎の安定的供給を図った。

戸 数：単身用9戸、世帯用7戸

(3) 健康管理推進事業（国民健康保険加入促進助成）

市内に居住している「留学ビザ」を持つ私費外国人留学生およびその家族に対し 1ヶ月1人あたり500円の助成金を支給した。

認定人員(本人)：大学・大学院 1,440名、短大 45名、専修学校 1,140名

合計 2,625名

(4) 相談事業

留学生が生活するうえで直面する諸問題の相談に応じ、早期の問題解決に助力した。

(5) 招待事業

① 文化事業への招待

センター主催事業をはじめとする日本（特に大阪）の文化事業に私費および国費外国人留学生を招待した。

招待事業：6月文楽公演、アジアフェス2004「モンゴル音楽祭」など8件

参加者：のべ1,040名

② 文化施設特別入場制度

留学生に府下の文化施設へ随時入場できる「留学生特別入場証」を交付した。

対象施設：大阪市立博物館など38施設

交付数：府下8,911名（うち大阪市内校3,157名）

(6) 外国人留学生支援市民募金事業

市民や企業等からの留学生支援の受け皿を目的とした「外国人留学生支援市民募金」（平成11年3月設置）の寄付金収入により、大阪市内の大学等で学ぶ私費外国人留学生への学費・生活資金の貸付や冠奨学金等、寄付者の意向に沿った支援策を実施した。

寄付金総額 19,664,969円（平成17年3月31日現在）

① 資金貸付事業

対象経費：生活費、医療費、学費、一時帰国費

実績：学費 5名（100,000円×2名、70,000円×1名、65,000円×1名、50,000円×1名）

② 冠奨学金支給事業

大阪関西ライオンズクラブ冠奨学金

実績：1名 480,000円／年

③ 特別奨学金支給事業〔再掲〕

12月に発生したスマトラ沖大地震で日本における学業継続に支障が生じた留学生に特別奨学金を支給した。

実績：2名 274,000円（137,000円×2名）

(7) 大阪国際学校支援市民募金事業

市民や企業等からの寄付金による「大阪国際学校支援市民募金」（平成13年9月設置）の寄付金収入により、大阪国際学校で学ぶ児童・生徒への奨学金を支給した。

寄付金総額 11,700,000円（平成17年3月31日現在）

奨学金支給事業

実績：1名 100,000円／年

6 調査・研究事業

- 市民レベルの国際協力事業推進の検討

持続可能な市民レベルでの国際協力のあり方などを検討するための調査研究を行った。

そのほか、アジア・太平洋地域と大阪・関西地域との交流のあり方や、留学生支援のあり方について引き続き研究を行った。

7 施設管理運営事業

◇大阪国際交流センター利用状況（平成16年4月～平成17年3月）

・施設利用状況

月別	大ホール		小ホール		大会議室		中会議室		小会議室		ギャラリー		和室	
	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%
4月	21	70.0	17	56.7	47	78.3	9	30.0	184	68.1	15	50.0	3	10.0
5月	22	71.0	16	51.6	35	56.5	12	38.7	178	63.8	11	35.5	1	3.2
6月	26	86.7	24	80.0	51	85.0	18	60.0	208	77.0	21	70.0	7	23.3
7月	23	74.2	22	71.0	49	79.0	9	29.0	181	64.9	12	38.7	1	3.2
8月	15	51.7	13	44.8	39	67.3	4	13.8	157	60.2	15	51.7	1	3.4
9月	20	66.7	21	70.0	49	81.7	16	53.5	186	68.9	25	83.3	1	3.3
10月	28	90.3	22	71.0	54	87.1	17	54.8	216	77.4	27	87.1	2	6.5
11月	26	86.7	21	70.0	53	88.3	11	36.7	195	72.2	22	73.3	4	13.3
12月	15	53.6	15	53.6	33	58.9	8	28.6	115	45.6	16	57.1	3	10.7
1月	14	50.0	15	53.6	43	76.8	13	46.4	138	54.7	10	35.7	7	25.0
2月	23	82.1	20	71.4	50	89.3	20	71.4	183	72.6	21	75.0	3	10.7
3月	28	90.3	21	67.7	48	77.4	15	48.4	198	71.0	14	45.2	4	12.9
計	261	72.8	227	63.5	551	77.1	152	42.6	2,139	66.4	209	58.6	37	10.5

(注) 稼働率については、利用日数を利用可能日数で割って求めた。

・施設利用状況

形態	学会・シンポジウム講演会・セミナー等	懇親会・パーティー	コンサート・オペラ	写真・絵画・その他展示会	その他	合計
件数(件)	865	16	119	63	147	1,210
構成比(%)	71.5	1.3	9.8	5.2	12.2	100.0

(注) 施設利用数に関わらず利用者ごとに1件としている。

・主な国際行催事

日 程	催 事 名
2004/ 4/ 3	韓日サクソフォンアンサンブル・ジョイントコンサート
2004/ 4/ 5-10	韓国現代陶芸展
2004/ 4/ 6	チューリッヒ(スイス)大学医学部精神科教授ヘルツカ博士来日記念講演 「親たちの自分探し」
2004/ 4/10	金福喜・韓国現代舞踊団公演
2004/ 4/10	平成16年度シニア海外ボランティア春募集説明会
2004/ 4/11	個人旅行のためのスイスセミナー
2004/ 4/14	ドバイ市代表団に対する大阪プロモーション
2004/ 4/23-24	日本文化理解講座「茶道教室」
2004/ 4/24	日本核医学会第4回春季合同セミナー・ランチョンセミナー
2004/ 4/28	ベトナム人研修生帰国式
2004/ 5/ 7	UNEP国際環境技術センター開設10周年記念国際シンポジウム
2004/ 5/ 8	第3回 日本-EU文化交流シンポジウム
2004/ 5/ 9-12	国際溶射会議
2004/ 5/13	大阪・上海友好都市提携30周年記念「上海家族」上映会
2004/ 5/15	チャーホフ没100年記念シンポジウム
2004/ 5/15	英国国際教育研究所日本語教師養成課程講座説明会・公開講義
2004/ 5/16	日中韓米ハイテク・ビジネス会議
2004/ 5/21	「外国人の住みやすい大阪を考える」関係機関等連絡会議
2004 /5/29	Festival Five 2004
2004 /5/30	高校生文化交流使節2003 帰国報告会
2004/ 5/30	日本文化理解講座「書道教室」
2004/ 6/ 9	ベトナム人研修生帰国式
2004/ 6/18-19	第100回 中材業務及び滅菌技法研究会
2004/ 7/ 1	外国人留学生のための進学フェア
2004/ 7/ 3- 4	第4回 伝統文化コーディネーター検定対策セミナー
2004/ 7/ 4	外国人のための一日インフォメーションサービス
2004/ 7/13	大阪市私費外国人留学生奨学金給付決定通知書交付式
2004/ 7/13-16	第10回 地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会
2004/ 7/14	第57回 国際溶接学会年次大会 同伴者プログラム 「日本文化セミナー」
2004/ 7/25	アイハウス夏祭り“The 賑”
2004/ 7/29	ベトナム人研修生帰国式
2004/ 7/31	第2回エクステンション高校生スペイン語スピーチコンテスト
2004/ 8/ 1	楽劇の祭典
2004/ 8/19-22	写真家デニックG. スカルヤによるインドネシア写真展
2004/ 8/19	ベトナム人研修生帰国式
2004/ 8/28	第7回女流囲碁フェスティバル

2004/ 9/ 1- 9/ 7	アジアフェス2004 アフガニスタン・バーミヤン西方遺跡写真展
2004/ 9/ 6	International Workshop on HBRA Study
2004/ 9/ 8-17	アジアフェス2004 アフガニスタン展 明日へつなぐアーティストたち
2004/ 9/ 9	ルード・ルベルス国連難民高等弁務官講演会
2004/ 9/11	アジアフェス2004 アフガンcafé
2004/ 9/12	インターナショナルフェローシップ
2004/ 9/13	独立行政法人 日本学生支援機構 大阪日本語教育センター スピーチコンテスト
2004/ 9/13	アジアフェス2004 「シルクロードの発見～仏教は西へ～」
2004/ 9/15	アジアフェス2004 アフガンcafé
2004/ 9/16	アジアフェス2004 『アフガン零年』上映会
2004/ 9/17	アジアフェス2004 写真家 内堀たけし氏とのフォト・ディスカッション
2004/ 9/17	ひらがなタイムズのInternational Party
2004/ 9/19	外国人のためのビザ・帰化手続に関する無料相談会
2004/ 9/20	ヴァイオリニスト大谷玲子の会主催コンサート
2004/ 9/21	シンポジウム・米国における最近の都市再生
2004/ 9/23	第15回ドイツ語スピーチコンテスト
2004/ 9/23	第38回英語スピーチコンテスト
2004/ 9/27	中東・イスラーム理解セミナーシリーズ in 大阪
2004/ 9/27	KIV・NET 第8回総会
2004/ 9/29	日本語スピーチコンテスト
2004/10/ 9~12	大阪・サント・ペテルブルグ姉妹都市提携25周年記念セミナー 「大阪-サント・ペテルブルグその都市魅力」
2004/10/ 9	WOAオリンピックによるシンポジウム 「躍進する女性オリンピック」
2004/10/ 9	英国国際教育研究所日本語教師養成課程講座説明会・公開講義
2004/10/10	アジアフェス2004 正倉院の響き 第1回レクチャー・コンサート
2004/10/10	平成16年度シニア海外ボランティア体験談・説明会
2004/10/11	カナダ留学フェア
2004/10/12	第22回民際フォーラム「世界を壊すもの結ぶもの」
2004/10/15	21世紀ジャーナリストフォーラム2004
2004/10/24	第1回ファシリテーターのための相互学習セミナー
2004/10/24-26	大阪上海友好都市提携30周年記念絵手紙展
2004/10/27	大阪市私費外国人留学生奨学金給付決定通知書交付式
2004/10/31-11/ 1	エルダーホステル日本学講座 ELDERHOSTELJAPAN Program
2004/11/ 1- 4	第9回ウリキョレ女性展
2004/11/ 1	アジアフェス2004 モンゴル音楽祭
2004/11/ 7	新宗連青年会近畿連盟 結成50周年記念式典
2004/11/ 7	第5回TMC国際看護セミナー アメリカにおける緩和ケアの看護実践

2004/11/ 7	第15回アジア国際ネットワークセミナー
2004/11/ 8	アジアフェス2004 正倉院の響き 第2回レクチャー・コンサート
2004/11/11-12	WRTLT 04:5th Workshop on RTL and High Level Testing
2004/11/12-15	第5回アジア太平洋手の外科学会
2004/11/16-25	外国語体験講座
2004/11/18-12/ 1	ヤン・デクレール美術展
2004/11/20	第2回ファシリテーターのための相互学習セミナー
2004/11/23	国際討論会アスペルガー症候群の診断と支援・社会的行動への警告
2004/11/23	文化庁優秀指導者特別指導助成事業「日中シンポジウム」
2004/11/24	留学生のための企業等見学会
2004/11/27	第3回ファシリテーターのための相互学習セミナー
2004/12/ 3	アメリカンクリスマスコンサート
2004/12/ 3	スピーチコンテスト
2004/12/ 3	日韓交流会
2004/12/ 3- 5	3rd 世界のCMフェスティバル in Osaka
2004/12/ 9-18	「にっぽん-大使たちの視線2004」写真展（大阪展）
2004/12/10	2004国際交流の夕べ
2004/12/10	韓日親善のゆうべ
2004/12/11	第1回地球市民トークプラザ 「サラエボ-民族共存をめざして ~ぼくがサッカーを通してできること~」
2004/12/11	第4回ファシリテーターのための相互学習セミナー
2004/12/12	第14回大阪留学生音楽祭
2004/12/13	アジアフェス2004 正倉院の響き 第3回レクチャー・コンサート
2004/12/23	BigotisBigotis ダリ、その人、その時代
2004/12/18	第14回 外国人日本語スピーチコンテスト
2005/ 1/14	阪神・淡路大震災10周年記念シンポジウム 「外国人情報提供システムの整備と共生社会の実現」
2005/ 1/15-16	北山大西バレエ団 大西縁バレエスクール第13回発表公演
2005/ 1/22	第5回ファシリテーターのための相互学習セミナー
2005/ 1/29	アジアフェス2004 正倉院の響き 第4回レクチャー・コンサート
2005/ 1/30	日本を楽しもう！「おもちつき」
2005/ 2/ 5- 6	ワン・ワールド・フェスティバル
2005/ 2/12	第2回地球市民トークプラザ 「『十五才-学校Ⅳ』上映とトークの集い ~教育の原点をアジアに学ぶ~」
2005/ 2/19	第6回ファシリテーターのための相互学習セミナー
2005/ 2/20	アジアフェス2004 「日韓友情年2005」記念事業 開高健記念アジア作家講演会(韓国)大阪公演
2005/ 2/21-27	アジアフェス2004 アジア漫画展
2005/ 2/26	第3回初級学習者のための「話してみよう韓国語」大阪大会
2005/ 2/27	アジアフェス2004 正倉院の響き 第5回レクチャー・コンサート

2005/ 3/ 6	リスクマネジメント協会 第5回年次大会
2005/ 3/10	雅楽練習所発表会
2005/ 3/11	総合医療情報システムセミナー
2005/ 3/18	アジアフェス2004 正倉院の響き 第6回正倉院復元楽器オーケストラコンサート
2005/ 3/19-20	フェアトレード・フェスタ ～身近にできる国際協力～
2005/ 3/20	阿藤久子フラメンコスタジオ フィンデ・クルソ・コンシールト2005
2005/ 3/24	一、一フェスタ5 -手作りの国際交流-
2005/ 3/27	第3回地球市民トークプラザ 「名取美和という生き方 ～タイのHIV感染孤児とともに～」
2005/ 3/29	スカラ合唱団コンサート

8 理事会等の開催

(1) 理事会

第40回 開催日 平成16年6月30日(水)
議案 ① 平成15年度事業報告及び収支決算について
② 顧問の推薦並びに評議員の選出について
③ その他

第41回 開催日 平成17年3月25日(金)
議案 ① 平成17年度事業計画及び収支予算について
② 事務局の組織改正について
③ 顧問の推薦並びに評議員の選出について
④ その他

(2) 評議員会

第37回 開催日 平成16年6月15日(火)
議案 ① 平成15年度事業報告及び収支決算について
② 理事及び監事の選任について
③ その他

第38回 開催日 平成17年3月10日(水)
議案 ① 平成17年度事業計画及び収支予算について
② 事務局の組織改正について
③ 監事の選任について
④ その他

(3) 企画委員会

第37回 開催日 平成16年9月9日(木)
議案 ① 平成16年度事業の進捗状況について
② 平成17年度事業について
③ その他

第38回 開催日 平成17年3月4日(金)
議案 ① 平成17年度事業について
② その他

9 賛助会員制度

大阪を中心とした関西一円の国際交流の場、市民レベルの国際感覚を培う場としての当センターの趣旨への理解を深めていただくとともに、様々な国際交流事業を幅広く支えていただくため、会員を募集し、会員交流会を実施した。

◇年会費

- ・法人 1口 10万円
- ・個人 特別会員（終身会員） 1口 50万円
- 一般会員 1口 1万円

◇会員数（平成17年3月31日現在）

- ・法人 59社 101口
- ・個人 76名 83口

◇会員特典

- ・センターが主催するセミナーやイベントへの招待・優待
- ・会員対象の交流会への招待
- ・インフォーションセンター図書閲覧室の図書貸出
- ・センターの定期刊行物の送付
- ・センター施設、館内レストランの割引など

16年度招待事業

日 時	事 業 名
7/25（日）	アイハウス夏祭り“The 賑”
11/1（月）	アジアフェス 2004「モンゴル音楽祭」
12/8（水）	「にっぽん—大使たちの視線 2004」写真展 大阪展オープニングセレモニー・会員交流会
12/3（金）	アメリカンクリスマスコンサート
12/10（金）	「2004 国際交流の夕べ」
1/30（日）	日本を楽しもう！「おもちつき」
1/14（金）	阪神・淡路大震災10周年記念シンポジウム
2/20（日）	アジアフェス 2004 開高健記念アジア作家講演会（韓国） 大阪講演&懇親会
3/18（金）	アジアフェス 2004 「正倉院の響き 第6回復元楽器オーケストラコンサート」
3/29（火）	ベルギー「スカラ合唱団」コンサート

10 収支決算概要（平成16年度）

（単位：千円）

	合 計	一 般 会 計	留学生支援 募 金 会 計	施設管理会計
1 収入の部				
基本財産等運用収入	6,612	6,612	0	0
会 費 収 入	10,930	10,930	0	0
事 業 収 入	593,324	82,717	0	510,607
補 助 金 等 収 入	2,100	2,100	0	0
交 付 金 等 収 入	264,000	264,000	0	0
寄 付 金 収 入	2,061	1,278	783	0
雑 収 入	1,521	1,009	3	509
敷金・預託金戻り収入	3,020	2,700	320	0
特定預金取崩収入	100	0	100	0
繰 入 金 収 入	30,000	30,000	0	0
収 入 合 計	913,668	401,346	1,206	511,116
2 支出の部				
事 業 費	723,617	305,269	1,397	416,951
管 理 費	64,502	64,502	0	0
固定資産取得支出	6,363	803	0	5,560
敷金保証金支出	1,369	791	0	578
特定預金支出	78,853	29,223	0	49,630
繰 入 金 支 出	30,000	0	0	30,000
支 出 合 計	904,704	400,588	1,397	502,719
当 期 収 支 差 額	8,964	758	△191	8,397

III

大阪国際交流センターの施設概要



大阪国際交流センターの施設概要

国際集客都市・大阪をますます発展させるために、市民レベルの国際交流の実践の場を提供し、その拠点としての役割を果たしています。

1 建設規模

敷地面積	12,808㎡
建築面積	5,793㎡
延床面積	13,967㎡

2 場 所

大阪市天王寺区上本町8丁目2番6号

3 工 期 等

工 事	(ア) 着工 昭和60年12月
	(イ) 竣工 昭和62年8月
開 館	昭和62年9月21日
総事業費	約122億円（建設費64億円、用地費58億円）

※事業費には国際学友会館（現 日本学生支援機構大阪日本語教育センター）にかかる建設費及び用地費を含む

4 施設管理

施設の管理運営は、財団法人大阪国際交流センターが行っています。ホール、会議室、レセプションルーム、ギャラリーなどの貸出施設とともに、インフォメーションセンターを気持ちよくご利用いただくよう、施設の整備・充実に努めています。なお、ホテル・レストランについては大阪国際交流センターホテル（都ホテル大阪直営）が管理運営しています。

休 館 日 12月29日～1月3日

このほかに設備保守点検等のため、臨時に休館することがあります。

利用時間 午前9時～午後9時

5 施設内容

1 F

■大ホール（2,280㎡・1,006席）

6言語同時通訳設備や高品質の音響映像システムを持ち、国際会議をはじめ、シンポジウム、コンサートなど、さまざまな行事に利用できるフレキシブルな施設です。

■アトリウム（780㎡）

天窓から自然光が降り注ぐ3階まで吹き抜けの屋内広場。全館使用の場合の各種展示、国際交流イベントの広場としてご利用いただいています。

■ギャラリー（165㎡）

大阪国際交流センターのショーウィンドー。彫刻・絵画・写真の展示スペースとして、また、商品展示や会議におけるポスターセッション会場としてご利用いただいています。

■インフォメーションセンター（495㎡）

国内外の留学、国際交流等に関する各種情報を提供しています。

■レストラン「パンジー」（115席・個室最大24席）

開放的で明るい雰囲気のレストランで、気軽なランチから本格的なディナーまで幅広いオーダーに一流のシェフが対応します。50名～100名様のお貸切パーティにもご利用いただけます。

2 F

■大会議室（レセプションルーム）さくら（245㎡×2室）

大阪市の花「さくら」をイメージした天井高約6mの空間は、講演会や研修会のほか、レセプション会場としても最適です。同時通訳・映像設備も充実しており、国際会議の会場としてもご利用いただいています。

• 会議室としての使用

1室 シアター：200名、スクール：162名

2室一体 シアター：440名、スクール：340名

• レセプション会場としての使用

1室 正餐：100名、立食：180名

2室一体 正餐：200名、立食：400名

■小ホール（176㎡・200席）

映像ホールとしての特徴を持つこのホールは、3言語同時通訳・映写設備を備え、国際会議や映画会をはじめ、ミニコンサートにもご利用いただいています。

■会議室A～D（58～65㎡×4室）

各種の会議やパーティの会場にご利用いただいています。また、ホールや会議室と組み合わせて分科会場としてもご利用いただいています。

• 会議室として

1室 スクール：36名、口の字：30名

A・BおよびC・Dは、2室一体の利用もできます。

- パーティ会場として

A・Bまたは、C・Dは、2室一体方式で小パーティの会場としてご利用いただけます。

3 F

■中会議室「銀杏」(いちよう)(188㎡)

控室も付属するハイグレードな空間です。各種会議・研修をはじめ、パーティなどにもご利用いただいています。

- 会議室として

シアター：150名 スクール：100名

- パーティ会場として

立食：80名

■小会議室1～5(50～58㎡×5室)

各種の会議や研修会場としてご利用いただけます。

- 会議室として

1室 スクール：24～36名、口の字：20～24名

1・2および3・4は、2室一体の利用もできます。

■和室「鴻臚庵」(84㎡)

お茶会や生け花の会などを開催できる和の空間です。海外からの賓客にも好評いただいています。

4～6 F

■大阪国際交流センターホテル宿泊室

シングルルーム：40室 ツインルーム：8室 トリプルルーム：2室

B 1

■フロンティアクラブ(74席)

留学生などの内外の若者が気軽に交流できるカフェ風のスペース。喫茶・軽食はもちろん、気軽なパーティやミーティング・ミニコンサートなど、貸し切りでのご利用も可能です。

◇その他

- 有料駐車場(70台)

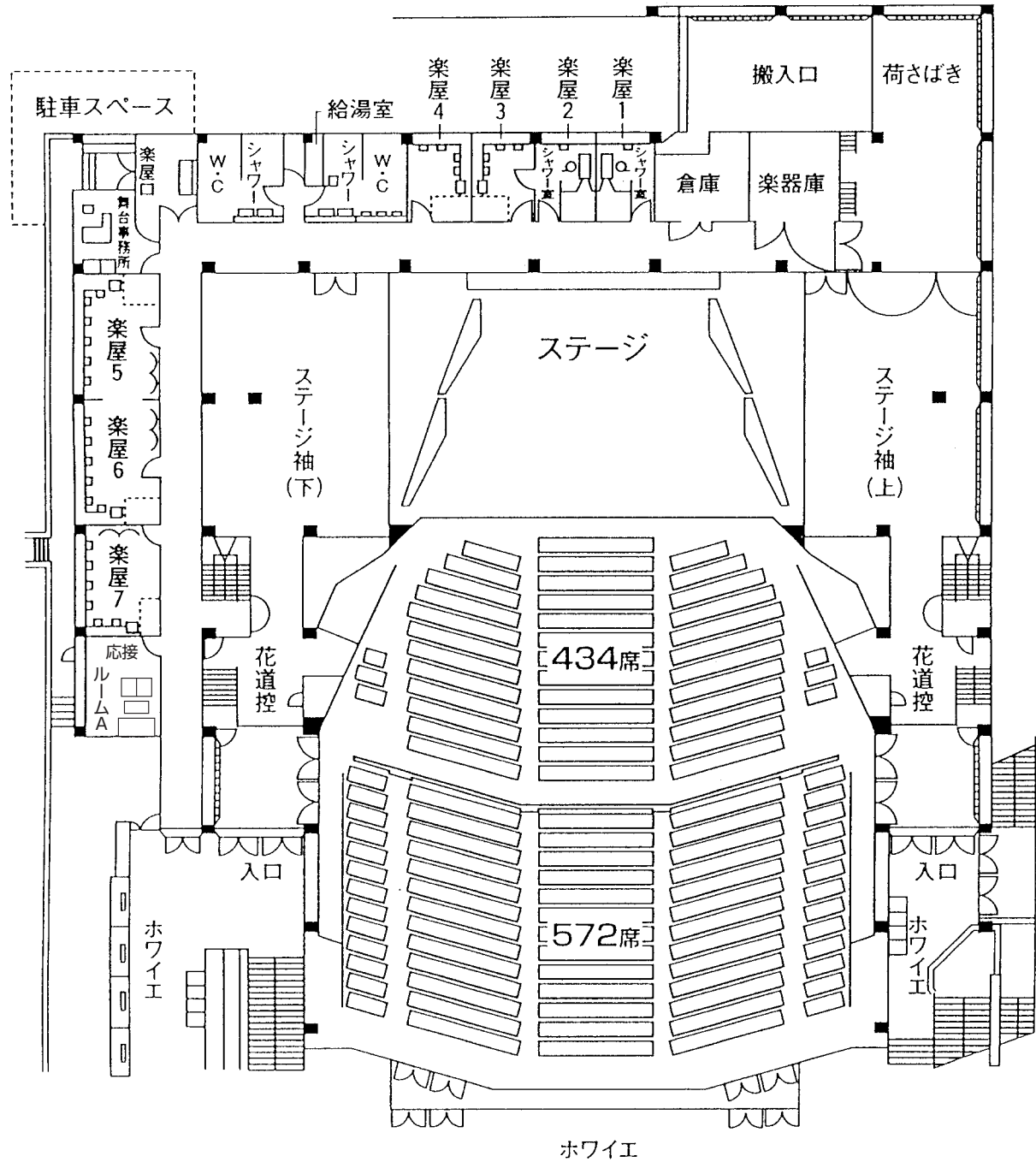
100円/20分(午前8時～午後10時)

100円/60分(午後10時～午前8時)

- テナント駐車場(29台)

6 各施設

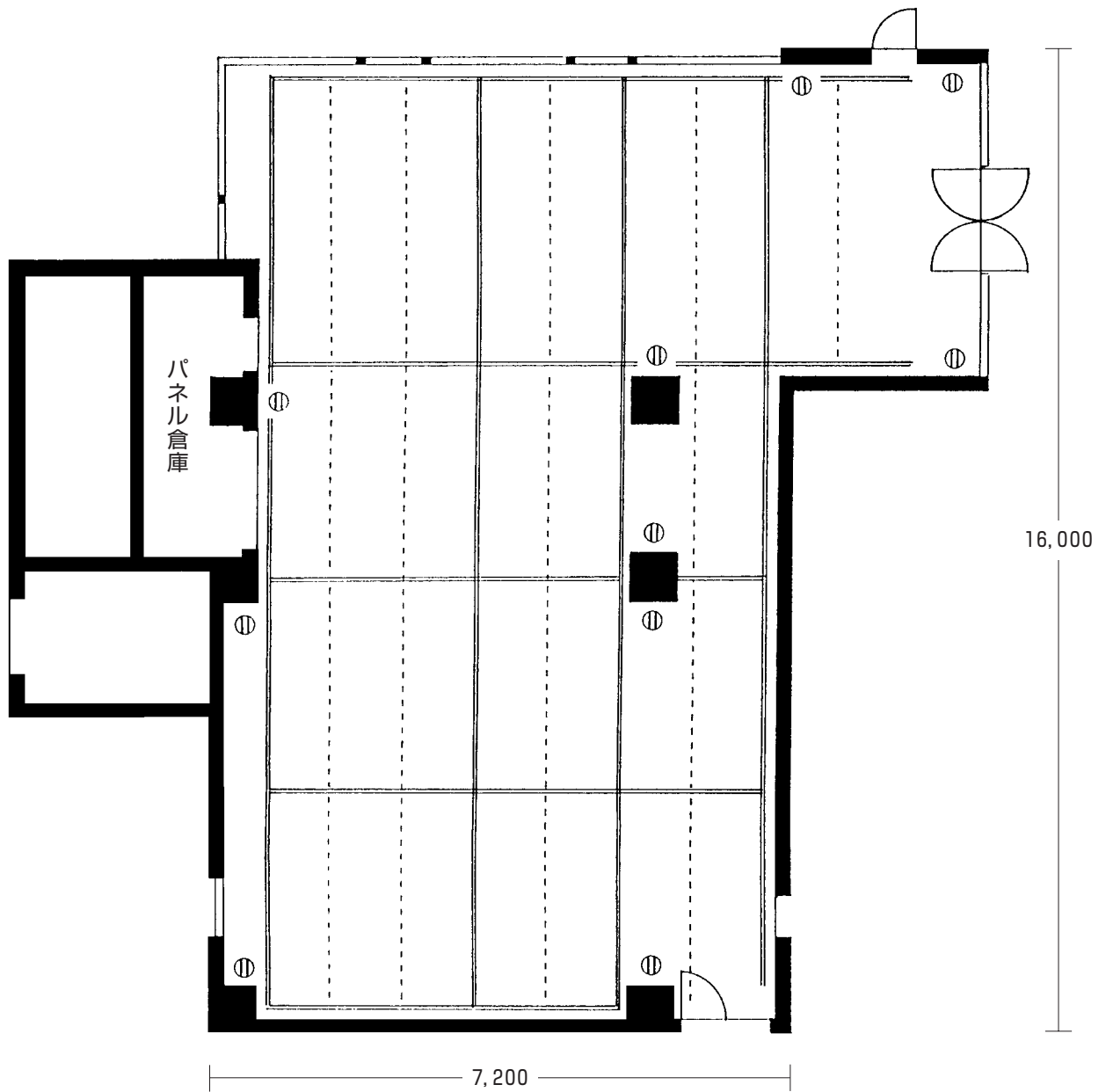
■ 大ホール (1F)



楽屋 7 室、応接室 (ルーム A)、リハーサル室 (94㎡)

同時通訳ブース 6 室、報道ブース

■ ギャラリー (1F)



スライディングウォール

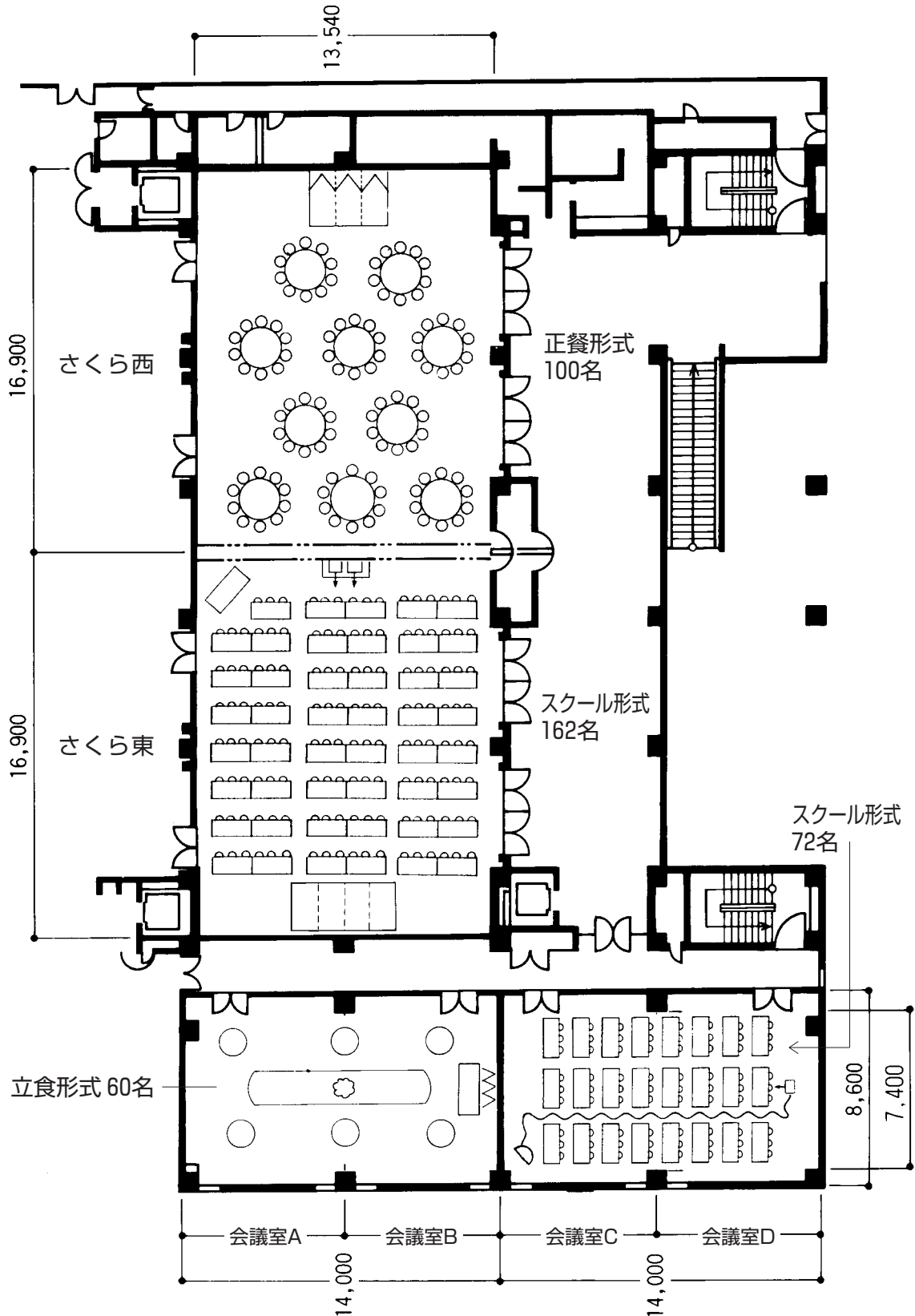


配線ダクト

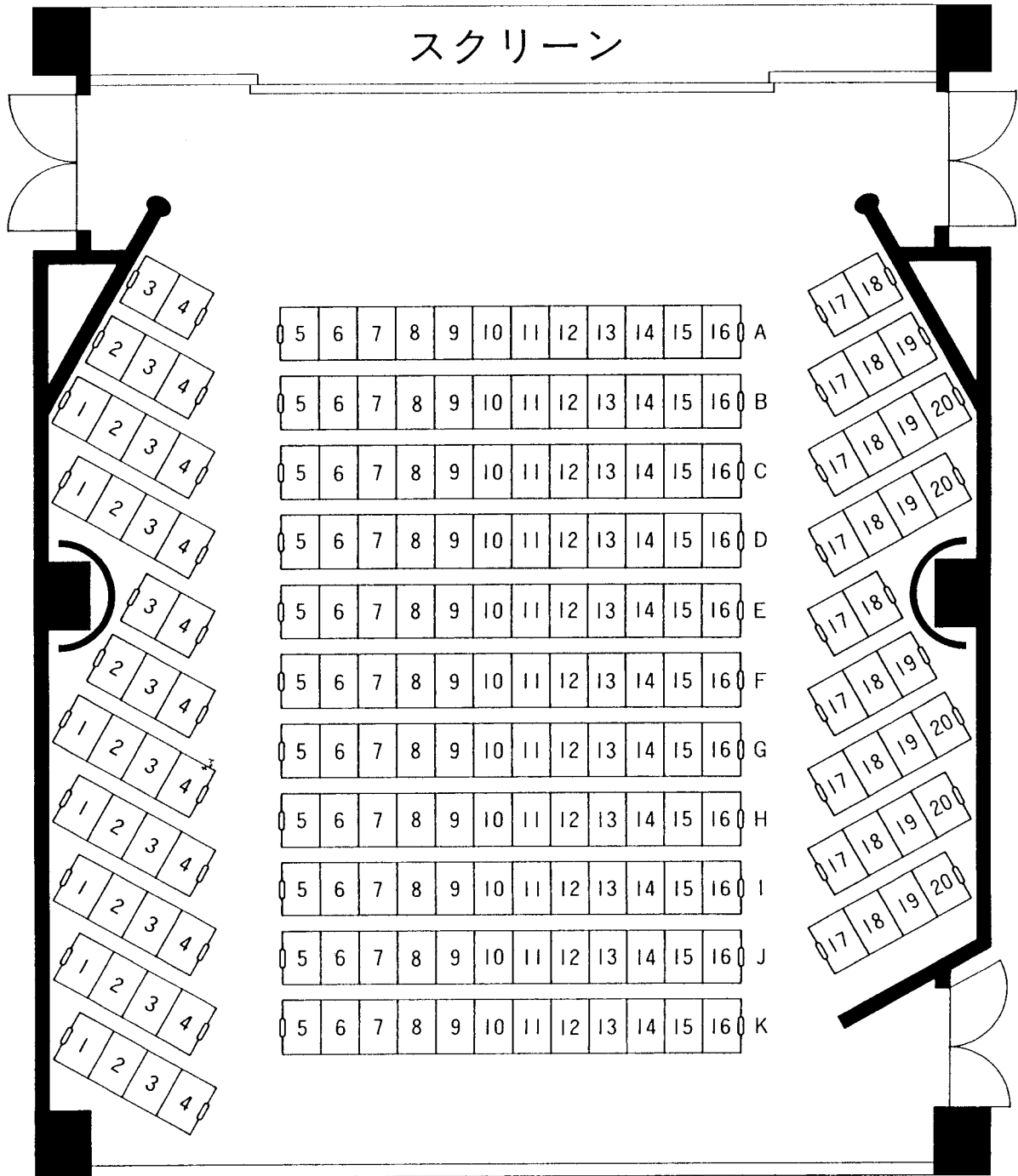
パネルサイズ

1 2 0 0 × 2 7 0 0 3 8 枚

■ 大会議室 (レセプションルーム) 「さくら」 東・西 (2F)
 会議室 A, B, C, D (2F)



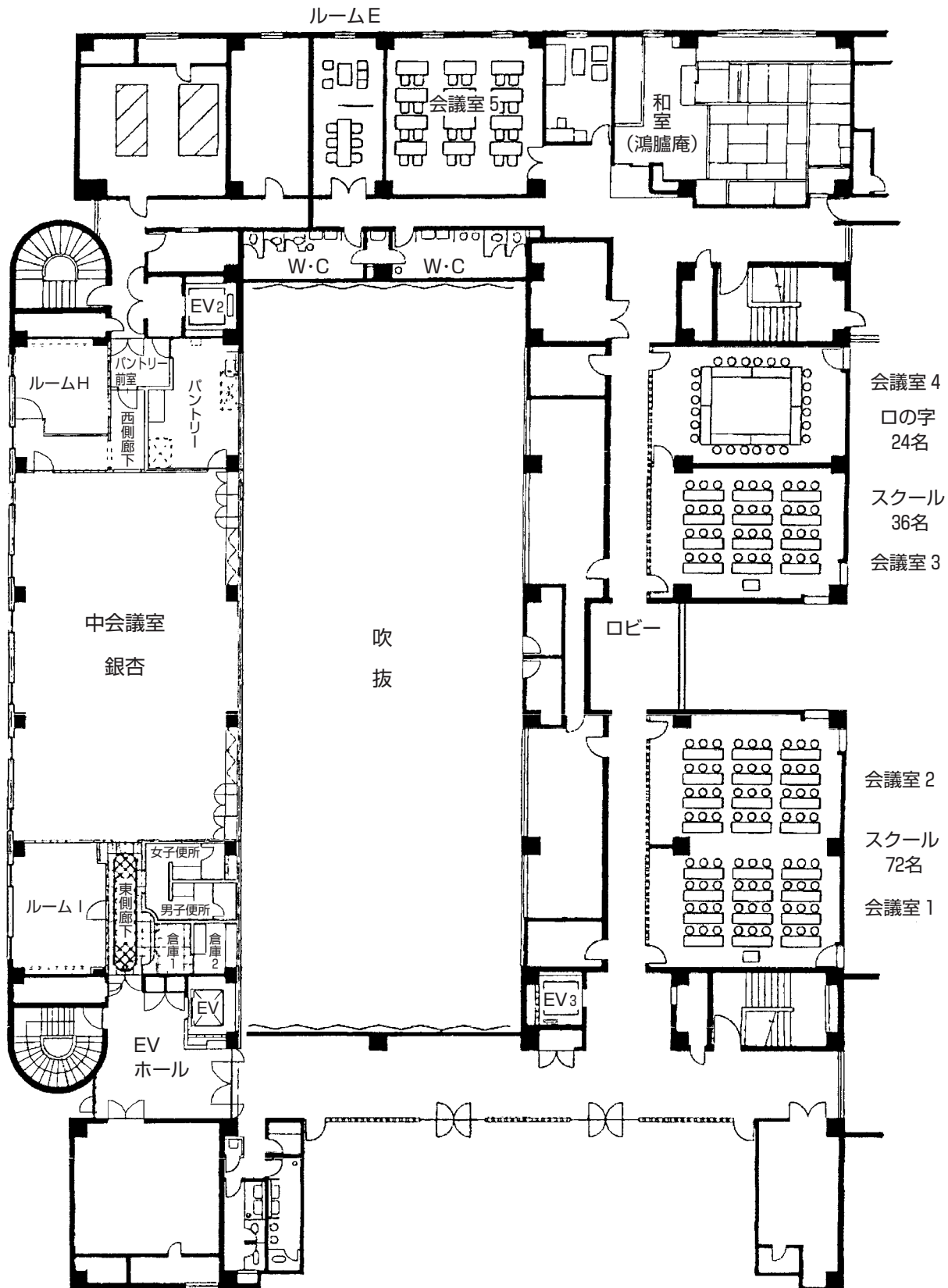
■ 小ホール (METホール) (2F)



※座席表示例：A-3、B-2、C-1

■ 中会議室「銀杏」

会議室 1,2,3,4,5 和室「鴻臚庵」(3F)



会議室 4
□の字
24名
スクール
36名
会議室 3

会議室 2
スクール
72名
会議室 1

大阪を中心とした関西一円の国際交流の拠点として、次のような国際交流団体も事務所を開設しています。

○大阪市姉妹都市交流協議会

当協議会は、大阪市の姉妹都市であるサンフランシスコ、サンパウロ、シカゴ、上海、メルボルン、サンクトペテルブルク、ミラノ、ハンブルクの8つの都市との交流活動を結びつけ、友好交流活動を強化するとともに、市民レベルの国際交流活動の輪を一層拡大・推進していくことを目的として設立され、下記事業を中心に国際交流の促進を図っています。

事業内容

- ◆各姉妹都市との市民レベルの交流事業
- ◆各姉妹都市協会との共通事業
- ◆姉妹都市を中心とした海外PR事業
- ◆関西在住の外国人と日本文化を通しての市民交流事業
 - ◇日本文化理解講座（書道・着物着付け・折り紙・茶道）
 - ◇国際文化理解講座（各国都市事情・外国料理教室等）
 - ◇その他
- ◆姉妹都市交流資料等の発行
 - 「大阪市の姉妹都市」
 - 「わたしたちの姉妹都市」
 - 「姉妹都市メモ」
- ◆姉妹都市PRコーナーの設置

代表委員 西村 貞一（株式会社サクラクレパス代表取締役社長）

所在地 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8丁目2番6号

大阪国際交流センター3階

TEL：06-6772-9670

FAX：06-6772-9790

URL：<http://www.sisterc.net/>

E-mail：info@sisterc.net

○財団法人ベルギーフランドル交流センター

財団法人ベルギーフランドル交流センターは、ベルギーフランドル政府文化省の後援のもとに、1975年4月に設立されました。

1983年には、博物館としての機能も併設され、フランドルの文化・芸術に関する常設展、特別展などが行われています。

また、1986年10月から、フランドル政府の国際交流の公的機関（リエイゾン・オフィス）に発展。フランドルと日本との産業・文化交流の橋渡しを目的に活動しています。各種講座、セミナー、コンサート、イベントなど多彩な文化事業を行う一方、館内には図書館、レコード・ライブラリーを有し、パイプオルガン、チェンバロ、ベイヤード（カリヨン）を常設し、合唱団、オランダ語クラスを開設しています。

なお、「フランドル友の会」を設けて、会員の方々にベルギーフランドル交流センターの催しの案内やニュースレターを送付しています。また、催しの優待や、会員のつどいなどもあり、ご好評をいただいています。ご興味のある方は、下記までお問い合わせください。

理事長・館長 Bernard CATRYSSE（ベルナルド・カトリッセ）
 所在地 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8丁目2番6号大阪国際交流センター3階
 TEL：06-6773-8850 FAX：06-6773-8855
 URL：http://www.flanders.jp/ E-mail：info@flanders.jp

◆ ベルギーフランドル交流センターの催物ご案内 ◆

○博物館展覧会

フランドルの文化・芸術に関する常設展、特別展の開催。

開催時間 11：00am～5：00pm（12：30pm～1：30pmは、昼休みのため閉館）

○コンサート

フランドルをはじめとした、ヨーロッパからのアーティスト及び日本のアーティストによるクラシック音楽のコンサートやマスタークラスを開催。

○図書館

音楽に関する専門書、楽譜、レコードライブラリー、フランドルに関する芸術書、専門書などが閲覧できます。

○各種教室

- ・オランダ語講座（毎週月曜日6：00pm～7：30pm）

毎年4月から、3期にわけて行います。

- ・女声合唱団コール・リリカ／毎週金曜日1：00pm～3：00pm
- ・パイプオルガン、チェンバロ、ベイヤード（カリヨン）の利用

○フランドルに関係するイベント開催

○フランドルとの経済交流の促進

○フランドルの文化、経済、観光などについての情報提供

－詳しい内容は事務局まで－

○特定非営利活動法人 関西国際交流団体協議会 (Kansai NPO Alliance)

関西地域に拠点を置いて活動する国際交流・国際協力団体を支援する連合体（アンブレラ組織）。ネットワークの重要性をいち早く認識して、1984年に設立。現在、関西の主要な170団体が加盟。設立主体の多様な団体が府県の枠を越えて参加していることが大きな特徴。

主な活動は、NPOの人材育成、NPOの活動基盤整備、市民の意識啓発や活動への参加促進のためのメディアを使った情報提供、ネットワークを生かしたNPOの協働、NPOの実践事例を蓄積し、NPO相互や企業、行政、教育機関とのコーディネートなど。

◆目的

平和、人権、貧困、環境など地球規模並びに地域社会における課題解決と共生社会に向けて、国際交流・国際協力団体のネットワークを構築し、民間非営利活動の基盤強化と、市民の意識啓発や活動への参加促進を図る事業を行うとともに、多（他）分野の民間団体、行政機関、国際機関、企業・経済団体、教育機関等との連携を促進し、もって、平和の確立、人権の尊重、貧困の撲滅、環境の保全など豊かな地球市民社会の実現に寄与すること。

◆役割・機能

- (1) ドキュメントセンター
- (2) サポートセンター
- (3) コーディネート機能
- (4) インターメディアリー機能
- (5) シンクタンク機能

◆主な活動

- (1) 国際交流・国際協力団体間の連携を促進する事業
 - ①多文化共生、国際協力、国際理解協力、日本語教育、国際交流協会のあり方等、課題別、テーマ別研究会の開催
 - ②国際交流・国際協力活動促進のための事業等の企画受託及び講師紹介、コーディネート
 - ③諸事業への後援
- (2) 国際交流・国際協力団体と他分野の団体、他機関との連携を促進する事業
 - ①NGO、ODA実施機関、国際機関等が一堂に会する「ワン・ワールド・フェスティバル」の開催
 - ②関係機関並びに国際的ネットワークの構築
 - ③NGO／NPOと企業・経済団体、行政機関との協働の創造
 - ④日本と海外の国々との架け橋となる「海外日本語ボランティア派遣」事業の実施
 - ⑤NGO／NPOと教育機関との連携の促進、帰国・渡日の児童生徒の進学・就学サポート事業
 - ⑥「国際交流・協力実践者全国会議」事務局受託

(3) 国際交流・国際協力、市民活動の情報収集と提供事業

- ①NPOの拠点施設の「pia NPOインフォメーションセンター」の運営
- ②オピニオン誌『NPOジャーナル』の編集発行
- ③関西の国際交流団体一覧『インターピープル・ダイレクトリー』の編集発行
- ④その他、各種出版事業『関西の日本語教室ダイレクトリー』日英版
『NPOの創造的マネジメント～協働、財源、アドボカシー、理事会の視座～』
『国際理解教育セミナー ～総合学習における新たな学び～』
- ⑤大阪国際交流センター「市民プラザ」の運営委託
- ⑥内外の国際交流、国際協力に関する情報の収集と提供
- ⑦マスコミへの情報提供

(4) 開発教育など市民の意識と活動への参加を促進する事業

- ①時事講座の開催
- ②小・中・高校の国際理解教育プログラムへの協力
- ③国際理解教育教材『現場から教室へ』の作成
- ④子どもの国際感覚を醸成する「pia NPO地球子ども塾」の開講
- ⑤国際交流・国際協力、市民活動促進のためのシンポジウム、講演会、研修会等への講師派遣

(5) 民間団体が活動しやすい社会基盤の整備に向けた事業

- ①NPOの拠点施設「pia NPO」の管理運営
- ②「国際交流・国際協力団体への就職ガイダンス」の開催
- ③「NPOスキルアップセミナー」の開催
- ④企業のNPO助成制度の受託運営
- ⑤NPOスタッフの雇用環境整備
- ⑥NPOの人材育成セミナーの開催
- ⑦行政の市民活動促進のための環境整備事業への参画

(6) 調査研究・提言活動

- ①調査・研究「関西の国際交流団体の現状と分析」
- ②「NPO／NGOの税・法制度改革連絡会」への参加
- ③審議会・委員会等への参加

◆所在地 <I-Houseオフィス>

所在地 〒543-0001

大阪市天王寺区上本町8丁目2番6号 大阪国際交流センター2階

TEL 06-6773-0256 FAX 06-6773-8422

E-mail: kna@interpeople.or.jp

URL: <http://www.interpeople.or.jp>

<pia NPOオフィス>

〒552-0021

大阪市港区築港2丁目8-24 pia NPO 2階

TEL 06-4395-1124 FAX 06-4395-1125

E-mail: kna@pianpo.com

◆設立時期 2001年12月10日（1984年12月10日任意団体設立）

◆会 員

◇正会員

設立母体……市民団体、自治体設立の交流協会、企業設立の二国間交流団体、助成財団、外国人設立の外国人コミュニティ、日本及び外国政府の外郭団体、労組等
分 野……国際交流（文化交流、人物交流、青少年交流、国際親善、留学生交流）、国際協力、国際理解教育、人権擁護、在住外国人支援、調査研究等

<会員の資格> 目的に賛同する非営利の国際交流・国際協力団体で、その定義は、

①平和や人権、貧困、環境などの課題解決のための事業を行っている団体

②世界の人々との異文化理解や友好親善の促進に資する事業を行っている団体

③市民の意識啓発を促進する事業等を行っている団体

<会 費> 年会費 1口2万円、入会金 1万円

◇賛助会員

資 格……本法人の目的に賛同する個人または団体

年会費……団体 1口3万円、個人 1口5千円

◆賞 国際交流基金地域交流振興賞 1995年 大阪府知事表彰 1990年

○社団法人CISV日本協会 関西支部

CISVは、Children's International Summer Villagesの頭文字で、日本では「国際こども村」と呼ばれています。国際本部は、イギリスのニューカッスルにあり、加盟国は約70ヶ国にのぼっています。日本国内では、本部として日本協会が東京にあり、国内4支部（関東、東海、関西、九州）と共同して、国際交流を通じての平和教育を実践しています。日本は、カテゴリーAとして、国際的に高い地位についています。

関西支部は、関西地区全域を活動地域とし、以下の事業をしています。

◆事業内容

(1) 11歳児童のための国際キャンプ「ビレッジ」

対象年齢：11歳

期 間：開催地の夏期4週間

偏見が少なく、言葉の壁を越えて比較的簡単に仲良くなれる11歳の時期に世界の人々と友達になり、お互いに同じ人間であり共通点が多いことを学びます。

(2) 家族ぐるみの交換ホームステイ「インターチェンジ」

対象年齢：12～15歳

期 間：3週間から4週間

ホームステイ先の家族の一員として異文化の中で生活し、その文化を理解します。また、相手国に行くだけでなく、自分の家庭にそのパートナーを受け入れるところが他のホームステイプログラムにはない大きな特徴です。参加者全員での企画もありグループ活動も重視しています。

(3) テーマを設けたキャンプ「サマーキャンプ」

対象年齢：13～15歳

期 間：開催地の夏期3週間

ビレッジとセミナーキャンプの中間的なプログラムです。ある特定のテーマを設定し、ディスカッションを行ったり、ゲームやスポーツをして過ごし、交流を深めます。

(4) 国際共同生活を体験する「セミナーキャンプ」

対象年齢：17～18歳

期 間：開催地の夏期3週間

他のプログラムに比べて、参加者の年齢を高く設定した参加者主体のキャンプです。参加者は個人・国際・異文化間に生じる問題をどのようにすれば平和的に解決できるかを学ぶとともに、これらの問題に対して、自分の意見を形成できるようになることをめざします。

(5) 短期間のテーマキャンプ「IYM (International Youth Meeting)」

対象年齢：11～12歳、13～14歳、14～15歳、16～18歳、19歳以上

期 間：6～14日間

他のプログラムに比べて短い日程ながら、参加者はそれまでのCISV経験をさらに発展させ、さまざまな異文化間問題の解決法を探り、リーダーシップや企画力を身に付けます。

(6) 11歳ビレッジ日本大会開催

対象年齢：11歳児

期 間：平成16年7月25日(日)～8月21日(土)の4週間

開催場所：カトリック野外礼拝センター

住 所：奈良市朱雀4丁目3番地2

電話番号：0742-71-6031

児童参加国：カナダ、イギリス、イタリア、韓国、メキシコ、ノルウェー、スウェーデン、ベトナム、日本、アメリカの10ヶ国

Junior Counselor参加国：イギリス、イタリア、ノルウェー、アメリカ、日本（男女各1名）の5ヶ国6名

関西支部長 奥谷 龍

所在地 〒543-0001

大阪市天王寺区上本町8丁目2番6号 大阪国際交流センター3階

TEL：06-6773-3722 FAX：06-6773-3724

E-mail：kansai@jp.cisv.org

URL：http://www.jp.cisv.org

IV

資料編



資料編 (平成16年度)

○ インフォメーションセンター相談件数

相談内容	件数	件 数		件数に占める割合
			うち外国人 (%)	
総件数		5,312	3,098 (58.3)	100.0
形態別		5,312	3,098 (58.3)	100.0
来館		2,180	1,344 (61.7)	41.0
電話		3,089	1,734 (56.1)	58.2
E-mail		37	16 (43.2)	0.7
書面		6	4 (66.7)	0.1
内訳		5,312	3,098 (58.3)	100.0
日本紹介		84	61 (72.6)	1.1
世界紹介		33	2 (6.1)	0.04
教育		802	471 (58.7)	8.9
海外留学		137	10 (7.3)	0.2
日本留学		492	360 (73.2)	6.8
その他		173	101 (58.4)	1.9
国際交流		248	54 (21.8)	1.0
公共・生活情報		1,164	930 (79.9)	17.5
国内情報		1,139	922 (80.9)	17.4
海外情報		25	8 (32.0)	0.2
保険・医療		188	150 (79.8)	2.8
宿泊・住宅		203	160 (78.8)	3.0
出入国		304	230 (75.7)	4.3
司法		197	161 (81.7)	3.0
求人求職		225	130 (57.8)	2.4
イベント		58	14 (24.1)	0.3
センターの紹介等		1,806	735 (40.7)	13.8
情報資料		205	62 (30.2)	1.2
事業概要		1,461	606 (41.5)	11.4
その他		140	67 (47.9)	1.3
月 平 均		442	258	—

○ インフォメーション・プラザ・オオサカ取扱件数

		件 数	構成比 (%)
総件数		3,016	100.0
形態別内訳		3,016	100.0
	来館	1,232	40.9
	電話	1,766	58.6
	E-mail	15	0.5
	書面	3	0.1
内容別内訳		3,016	100.0
	日本紹介	60	2.0
	世界紹介	4	0.2
	教育	441	14.6
	海外留学	11	0.4
	日本留学	336	11.1
	その他	94	3.1
	国際交流	52	1.7
	公共・生活情報	920	30.5
	国内情報	909	30.1
	海外情報	11	0.4
	保険・医療	155	5.1
	宿泊・住宅	156	5.2
	出入国	226	7.5
	司法	164	5.4
	求人・求職	130	4.3
	イベント	13	0.4
	センターの紹介	695	23.0
	情報資料	54	1.8
	事業概要	580	19.2
	その他	61	2.1
使用言語別内訳		3,016	100.0
	英語	1,358	45.0
	中国語	310	10.3
	韓国・朝鮮語	195	6.5
	スペイン語	258	8.6
	ポルトガル語	90	3.0
	インドネシア語	3	0.1
	タイ語	9	0.3
	日本語	793	26.3
	その他	0	0.0

○ 外国籍住民相談窓口取扱件数

相談内容		件数	構成比 (%)
総件数		2,412	100.0
形態別内訳	形態別内訳	2,412	100.0
	来館	974	40.4
	電話	1,423	59.0
	書面（投書11／E-mail 4）	15	0.6
相談内容別内訳		2,412	100.0
相談内容別内訳	簡易な市民の声	769	31.9
	法律相談案内	71	2.9
	一般相談	1,572	65.2
	借地・借家	53	3.4
	不動産売買	1	0.1
	家庭	8	0.5
	近隣	3	0.2
	相続贈与	0	0.0
	金銭	5	0.3
	交通事故	6	0.4
	職業資格	118	7.5
	文化教養	354	22.5
	その他	1,024	65.1
	使用言語		2,412
使用言語	英語	1,114	46.2
	中国語	250	10.4
	韓国・朝鮮語	177	7.3
	スペイン語	224	9.3
	ポルトガル語	81	3.3
	インドネシア語	2	0.1
	タイ語	10	0.4
	日本語	554	23.0
	その他	0	0.0

○ 外国籍住民法律相談件数

相談内容		件数	構成比 (%)
		件数	
総件数		108	100.0
相談内容内訳	土地・建物	6	5.6
	金銭	12	11.1
	結婚・離婚	22	20.4
	相続・贈与	5	4.6
	親族・戸籍	4	3.7
	労働	11	10.2
	損害・賠償	20	18.5
	その他	28	25.9
使用言語内訳	英語	36	33.3
	中国語	22	20.4
	韓国・朝鮮語	5	4.6
	スペイン語	9	8.3
	ポルトガル語	2	1.9
	インドネシア語	0	0
	タイ語	0	0
	日本語	34	31.5

○ 外国人のための「一日インフォメーションサービス」相談件数

(1) 受付票数

来場者総数	110
回収数	83

(2) 内容別相談者数

人権	4
法律	27
出入国・在留	40
職業	23
進学	29
医療	9
歯科医療	7
薬剤	0
市政	3
保険年金	13
税金	7
生活	13
労働	7
子育て	5
合 計	187

(3) 使用言語

日本語	31
英語	34
中国語	44
韓国・朝鮮語	6
スペイン語	21
ポルトガル語	9
インドネシア語	3
タイ語	0
ベトナム語	14
フィリピン語	13
不明	12
合 計	187

○ 図書蔵書数

分野別	総数	和書・洋書別	
		和書	洋書
世界紹介	1,814	1,121	693
日本紹介	928	595	333
海外留学	107	67	40
日本留学・日本国内の教育	41	38	3
国際交流、協力	728	692	36
在住外国人問題	155	150	5
国際理解教育、開発教育用教材	192	190	2
APIC (国際協力推進協会) コーナー	235	225	10
JICA (国際協力機構) コーナー	526	247	279
語学学習書	849	417	432
外国語図書・絵本	141	133	8
総記	81	69	12
大阪関係図書	253	253	0
その他	43	43	0
合計	6,093	4,240	1,853

〈入館者数〉

区分	総数
年間利用者数(人)	109,264
一日平均(人)	317

○ ビデオ所蔵数

分野別	総数	日本語	
		日本語	その他
歴史	62	31	31
日本紹介	94	46	48
各国紹介	333 (DVD:10含)	223 (DVD:10含)	110
社会科学	174	97	77
国際協力・教育	281	256	25
留学	5	4	1
自然科学	19	3	16
技術・工学	26	11	15
産業	14	6	8
芸術	194	27	167
言語	83	27	56
文学	18	2	16
総数	1,303	733	570

〈ビデオコーナー利用状況〉

区分	利用者総数	内外国人	
		内外国人	
ビデオコーナー	739	127	
インターネットコーナー	18	13	
BBC TVコーナー	163	117	
KNTVコーナー	467	7	

○ アイハウス・ボランティアバンク活動実績

【登録者実数】 737名（平成17年3月末現在）

【種類別登録者数】

種 類	人 数
ホームステイ	171
ホームビジット	206
通訳・ガイド	396
翻 訳	221
技術・技能※	735
日常業務協力	274
合 計 (延べ)	2,003

※茶道・華道・着付けなど日本の伝統文化や日本語指導、インターネット指導などの技術保有者

【通訳・ガイド、翻訳言語別登録者数】

種 類	人 数
英 語	470
中 国 語	104
ス ペ イ ン 語	46
韓 国 ・ 朝 鮮 語	35
フ ラ ン ス 語	30
ド イ ツ 語	17
タ イ 語	11
イ タ リ ア 語	10
イ ン ド ネ シ ア 語	9
ポ ル ト ガ ル 語	7
ロ シ ア 語	5
ベ ト ナ ム 語	3
合 計 (延べ)	747

【分野別活動実績】（依頼団体の欄に表記のないものは当センター主催事業関連の活動です。）

◇ホームステイ

期 間	活動名称（依頼団体）	国・地域	受入人数	活動者数
04/4/1～12/18	メルボルン高校生の受入れ （大阪・メルボルン姉妹都市協会）	オーストラリア	1	2
04/5/1～5/8	カリヨン演奏者の受入れ （財）ベルギーフランドル交流センター）	ベルギー	1	1
04/6/21～7/16	大阪市立大学派遣学生の受入れ （大阪市立大学商学部）	フランス	4	4
04/7/3～7/4	アメリカ教育機関関係者の受入れ （大阪市市長室国際交流課）	アメリカ	20	14
04/7/9～7/17	シカゴ日本語弁論大会受賞者の受入れ （大阪市姉妹都市交流協議会）	アメリカ	1	1
04/7/19～8/6	サンフランシスコ派遣高校生の受入れ （大阪市姉妹都市交流協議会）	中国、アメリカ	2	2
04/8/6～8/8	ベトナム人研修生の受入れ （財）ユースワーカー能力開発協会）	ベトナム	26	6
04/8/17～8/20	鹿児島純心女子大学留学生の受入れ （鹿児島純心女子大学）	台湾	4	3
04/9/14～05/1/24	大阪国際大学留学生の受入れ （エンジェルズ大学）	トルコ	1	1
04/9/19～9/26	長崎純心大学留学生の受入れ （長崎純心大学留学生の受入れ）	中国	1	1
04/10/2～10/3	韓国人教員の受入れ	韓国	24	20
04/9/4～9/5	日本語成績優秀者の受入れ （独立行政法人 国際交流基金関西国際センター）	インド、スリランカ、 ネパール、パキスタン、 トンガ、キューバ等	12	12
04/11/20～11/27	バーミンガム高校生の受入れ	アイルランド	14	15
04/2/12～2/14	シンガポール高校生の受入れ （財）大阪観光コンベンション協会）	アメリカ、インドネシ ア、インド、韓国、中 国、シンガポール等	20	11
04/3/13～3/26	サンパウロでの日本語スピーチコ ンテスト入賞者の受入れ （大阪市姉妹都市交流協議会）	ブラジル	1	1
04/3/27～3/29	スカラ合唱団の受入れ （財）ベルギーフランドル交流セン ター）	ベルギー	60	38
計			192	132

◇通訳・ガイド

略称表記例：英…英語、中…中国語、韓…韓国・朝鮮語、ス…スペイン語、ポ…ポルトガル語、
イ…インドネシア語、タ…タイ語、仏…フランス語、伊…イタリア語、独…ドイツ語

活 動 日	活動名称及び依頼団体	言 語	活動者数
04/4/1～05/3/31	インフォメーションプラザ通訳※	英・中・韓・ タ・ポ・イ・ ス	410
04/4/19	大阪府アウトソーシング及び労働安全衛生マネージメント関連記事取材同行通訳 (大阪府商工労働部観光交流課)	英	1
04/5/11	国際会議の茶道体験教室における通訳 (大阪大学接合科学研究所)	英	1
04/5/12	家事調停通訳 (大阪家庭裁判所)	ス	1
04/5/22～5/26	「ロータリー2004年 国際大会」における通訳 (大阪市ゆとりとみどり振興局)	英	16
04/6/8	大阪市立新北島保育所のクラス懇談会における通訳 (大阪市立新北島保育所)	中	1
04/7/4	「一日インフォメーションサービス」相談通訳	英・中・韓・ タ・ポ・イ・ ス	22
04/7/14	日本伝統文化セミナーにおける通訳 (第57回国際溶接学会年次大会組織委員会)	英	2
04/7/23	療育手帳申請に係る面接における通訳 (大阪市立心身障害者リハビリテーションセンター)	中	1
04/8/2～8/7	「世界バトントワリング選手権大会」における通訳 (大阪市ゆとりとみどり振興局)	英・ス・仏・ 伊	21
04/9/2～05/3/18	大阪市立すみれ小学校の中国籍児童への通訳 (大阪市すみれ小学校)	中	1
04/10/9～10/17	大阪市長杯2004 世界スーパージュニアテニス選手権大会における通訳 (大阪市ゆとりとみどり振興局 国際競技部)	英	51
04/10/11	カナダ留学フェアにおける通訳及び受付 (カナダ教育連盟)	英	34
04/10/19	アジア刑政財団主催レセプションにおける通訳 (財)アジア刑政財団 大阪支部)	英	5
04/11/22	バーミンガム高校生施設訪問における通訳	英	2
04/12/8	大阪国際交流センター施設説明会における通訳	英	2
04/12/24	日本国籍取得及び就学児童の手続きにおける通訳 (大阪市西成区役所)	タ	1
05/1/21	外国籍住民への戸籍制度等の説明時における通訳 (大阪市東淀川区役所)	中	1
05/3/4～3/9	カウンセリングにおける通訳 (日本学生支援機構 大阪日本語教育センター)	中	1
05/3/24	児童相談業務における面接時の通訳 (大阪市中央児童相談所)	中	1
計			575

※英語・中国語・韓国・朝鮮語(毎日)、タイ語(月曜日)、ポルトガル語(火曜日)、インドネシア語(水曜日)、スペイン語(金曜日)の7言語で午前9時から午後5時30分まで開設

◇ 翻 訳

略称表記例：英…英語、中…中国語、韓…韓国・朝鮮語、ス…スペイン語、ポ…ポルトガル語、
イ…インドネシア語、タ…タイ語、仏…フランス語、伊…イタリア語、独…ドイツ語

内容および依頼団体	言 語	活動者数
「ジャーナリストフォーラム2003」アンケート結果の翻訳	中	1
「多言語情報交換ボード」各言語の内容チェックボランティア	韓・ス	2
記事の翻訳（関西国際広報センター）	中・伊・独	(計)18
「いこま社協のしおり」の翻訳（生駒市社会福祉協議会）	韓	1
	計	22

◇ 技術・技能

活 動 日	活 動 名 称	活動者数
04/4/1～05/3/31 ※	在住外国人ふれあいサロン（日本語指導）	1,268
04/4/1～05/3/31	「たのしい日本語」（日本語指導）	304
04/5/11, 7/11, 9/9, 11/2, 12/1	国際会議における着付け ((財)大阪観光コンベンション協会)	(計)11
04/5/11	国際会議の茶道体験教室における茶道実演 ((財)大阪大学接合科学研究所)	1
04/7/14	日本伝統文化セミナーにおける着付け・茶道・華道・折り紙 実演 (第57回国際溶接学会年次組織委員会)	(計)6
04/8/7	第25回世界バトントワリング選手権大会の文化交流イベント における着付け・茶道実演 (大阪市ゆとりとみどり振興局 国際競技課)	4
	計	1,594

※毎週土曜日午後2時～3時30分実施

◇ 日常業務協力

活 動 日	活 動 名 称	活動者数
月1回（計12回）	ボランティア活動紹介発送	(計)45
隔月1回（計5回）	アイハウスニュース発送	(計)20
04/7/4	「一日インフォメーションサービス」飲物コーナースタッフ	2
04/7/25	アイハウス夏祭り“The 賑”運営スタッフ	81
04/9/1～9/17	アジアフェス2004「まるごとアフガニスタン」写真展受付	19
04/10/07～10/29	「第6回いんた～び～ふるクイズラリー」準備スタッフ (同実行委員会)	6
04/10/10～10/12	「サンクト・ペテルブルグ展」における受付 (大阪市市長室秘書部国際交流課)	6
04/10/31	「第6回いんた～び～ふるクイズラリー」当日スタッフ (同実行委員会)	10
04/11/23～11/30	「ヤン・デクレール美術展」における受付 (財)ベルギーフランドル交流センター)	7
04/12/9～12/18	「にっぽん－大使たちの視線2004」写真展受付	1
05/1/30	「日本を楽しもう！」餅つきスタッフ	18
05/2/5～2/6	「ワン・ワールド・フェスティバル」当日ボランティア	15

05/2/20	アジアフェス2004 開高健記念アジア作家講演会(韓国)大阪講演	2
05/2/21~2/27	アジアフェス2004「アジア漫画展」における受付	11
05/3/18	アジアフェス2004「正倉院の響き」演奏会における受付	2
05/3/19~3/20	「フェアトレードフェスタ～身近にできる国際協力～」における受付等	5
	計	250

○ 大阪市の国籍別外国人登録者数の推移

(大阪市調査 12月末現在)

	1955 (昭和30)	1985 (昭和60)	1995 (平成7)	1996 (平成8)	1997 (平成9)	1998 (平成10)	1999 (平成11)	2000 (平成12)	2001 (平成13)	2002 (平成14)	2003 (平成15)
韓国及び朝鮮 (朝鮮)	75,938	110,444	102,008	101,116	99,677	98,256	97,154	96,115	94,948	93,424	89,878 (73.6%)
中国	4,857	5,232	10,354	10,903	11,558	12,251	12,650	13,640	15,389	17,195	20,161 (16.5%)
フィリピン		379	1,385	1,450	1,557	1,651	1,750	1,987	2,191	2,199	2,499 (2.1%)
ブラジル		27	1,520	1,806	1,704	1,450	1,373	1,370	1,565	1,518	1,524 (1.3%)
アメリカ		348	798	833	835	756	766	821	1,003	1,057	1,221 (1.0%)
タイ		138	367	393	436	480	563	608	649	672	733 (0.6%)
イギリス		150	276	355	384	381	423	410	478	521	567 (0.5%)
オーストラリア		24	266	283	308	358	380	401	577	569	656 (0.5%)
ペルー		2	250	279	315	376	350	365	392	431	473 (0.4%)
その他	370	717	1,701	1,924	2,246	2,379	2,459	2,591	3,059	3,504	4,307 (3.5%)
総計	81,165	117,461	118,925	119,342	119,020	118,338	117,868	118,308	120,251	121,090	122,019

○ 平成16年度大阪府内留学生数等調査

(大阪府調査 抜粋)

I 調査実施日 平成16年5月1日

II 対 象 大阪府内の大学・短期大学及び専修学校等

学校種別	発 送 数	回 答 数	うち受け入れ 学校数
大学・短大	94	94	56
専 修 学 校	229	229	58
合 計	323	323	114

※専修学校の欄には、(独法)日本学生支援機構大阪日本語教育センターを含む。

また、ここでいう留学生とは、出入国管理及び難民認定法で定める正規の留学を所持する者をいう。

III 国費・私費別留学生数

	大 学 ・ 短 大			専 修 学 校			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
国費留学生	370	257	627	57	21	78	427	278	705
私費留学生	2,905	3,129	6,034	1,490	1,279	2,769	4,395	4,408	8,803
合 計	3,275	3,386	6,661	1,547	1,300	2,847	4,822	4,686	9,508

IV 地域留学生数

地 域	大 学 ・ 短 大			専 修 学 校			地 域 別 合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
ア ジ ア	2,870	3,092	5,962	1,520	1,290	2,810	4,390	4,382	8,772
ヨーロッパ	147	129	276	10	5	15	157	134	291
中 東	15	16	31	0	0	0	15	16	31
アフリカ	41	12	53	7	0	7	48	12	60
太 洋 州	25	19	44	3	3	6	28	22	50
北 米	141	91	232	7	1	8	148	92	240
中 南 米	36	27	63	0	1	1	36	28	64
合 計	3,275	3,386	6,661	1,547	1,300	2,847	4,822	4,686	9,508

V 留学生数の推移と全国との比較

	大 阪 府						全 国	
	大学・短大	前年比	専修学校	前年比	合 計	前年比	合 計	前年比
昭和60年度	1,174		195		1,369		15,009	
昭和61年度	1,250	106.5%	236	121.0%	1,486	108.5%	18,631	124.1%
昭和62年度	1,484	118.7%	393	166.5%	1,877	126.3%	22,154	118.9%
昭和63年度	1,644	110.8%	426	108.4%	2,070	110.3%	25,643	115.7%
平成元年度	1,992	121.2%	779	182.9%	2,771	133.9%	31,251	121.9%
平成2年度	2,301	115.5%	1,194	153.3%	3,495	126.1%	41,347	132.3%
平成3年度	2,651	115.2%	1,041	87.2%	3,692	105.6%	45,066	109.0%
平成4年度	2,859	107.8%	1,023	98.3%	3,882	105.1%	48,561	107.8%
平成5年度	2,982	104.3%	920	89.9%	3,902	100.5%	52,405	107.9%
平成6年度	3,126	104.8%	779	84.7%	3,905	100.1%	53,787	102.6%
平成7年度	3,063	98.0%	715	91.8%	3,778	96.7%	53,847	100.1%
平成8年度	3,112	101.6%	728	101.8%	3,840	101.6%	52,921	98.3%
平成9年度	3,201	102.9%	677	93.0%	3,878	101.0%	51,047	96.5%
平成10年度	3,349	104.6%	822	121.4%	4,171	107.6%	51,298	100.5%
平成11年度	3,591	107.2%	1,283	156.1%	4,874	116.9%	5,755	108.7%
平成12年度	4,190	116.7%	1,486	115.8%	5,676	116.5%	64,011	114.8%
平成13年度	4,952	118.2%	1,824	122.7%	6,776	119.4%	78,812	123.1%
平成14年度	5,691	114.9%	2,110	115.7%	7,801	115.1%	95,550	121.2%
平成15年度	6,056	106.4%	2,613	123.8%	8,669	111.1%	109,508	114.6%
平成16年度	6,661	110.0%	2,847	109.0%	9,508	109.7%	117,302	107.1%

※大阪府の数字は平成14年度までは年度12月1日現在、平成15年度以降は5月1日。

全国の数字は各年度5月1日現在（文部科学省調べ）

大阪国際交流センター 2004アニュアルレポート

発行年月 / 2005年7月

発行・編集 / 財団法人大阪国際交流センター
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 8-2-6
TEL 06-6772-5931 FAX 06-6772-7600
<http://www.ih-osaka.or.jp/>

印刷 / 和泉出版印刷株式会社

この年報は再生紙（古紙含有率100%）を使用しています



財団法人 大阪国際交流センター
Osaka International House Foundation